

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(平成 27 年 4 月 30 日までにご連絡をいただいた方々)

回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日	回生	氏 名	死亡年月日
26	小松 文夫	1985/12/29	43	北原 善次	2015/1/4	49	斉藤 文夫	2015/2/9	59	竹原 春雄	2009/4/15						
27	横沢 安雄	2006/10/29	43	暮沼 正則	2014/8/16	49	名沢 光男	2011/5/31	59	丸山 茂夫	2015/1/7						
29	今井 功	2012/12/20	43	堀田 正弘	2009/10/24	50	鈴木 中	2004/11/11	60	土田 俊朗	2014/6/24						
33	福田 幹人	2013/10/31	44	有賀 久人	2015/3/	50	中島 英幸	2011/6/9	60	藤森 弘	2014/6/6						
34	中沢 典善	2008/11/12	44	牛山 文男	2014/6/18	50	前島 克夫	2013/7/2	60	藤森 正忠	2013/7/30						
35	古村仁一郎	2014/5/23	44	小口 正雄	2010/1/8	50	宮坂 友昭	2014/5/8	61	名取 義雄	2005/11/21						
36	小早 信一	2012/5/4	44	佐野 正美	2015/3/14	51	牛山 充正	2014/5/4	62	朝比奈茂吉	2015/1/26						
37	花岡 清寿	2007/12/10	44	清水 孝基	2014/9/29	51	河西 友三	2015/2/21	62	石城 祐吉	2015/2/23						
37	矢崎 与	2009/5/28	44	竹村 弘	2014/1/10	51	金子 光徳	2014/5/20	62	上原 俊春	2011/10/15						
37	矢島 善一	2012/12/23	44	保延 道夫	2013/12/25	51	鎌倉 満雄	2014/3/7	62	小池 清一	2013/7/27						
38	大澤 一雄	2013/12/11	44	宮坂 武夫	2014/2/20	51	中村 幸彦	2014/9/22	63	片瀬 泰之	2013/12/7						
38	小松宏一郎	2014/5/27	44	宮坂 貢	2013/12/13	51	中山 博文	2012/11/23	63	丸山 一徳	2014/3/8						
38	名取 伝男	2013/12/16	45	有賀 徹	2014/4/3	51	藤森 市郎	2015/1/28	64	牛山 善敬	2013/4/1						
39	浅野 勇	2014/3/29	45	小口 登	2014/4/8	51	細田 英夫	2013/12/16	64	小川 洋次	2014/2/22						
39	小沢 敏秀	2014/1/26	45	小池 侃	2014/2/6	51	丸茂 真	2012/8/2	65	篠原 宏文	2015/1/3						
39	小松 矩男	2012/9/18	45	原 義郎	2014/5/9	51	東小川 学	2013/7/23	65	高橋 公彦	1997/4/23						
39	田中 義明	不明	45	林 三雄	2014/1/13	52	近藤 光也	2014/10/13	67	赤羽 好和	1998/8/5						
39	浜 広行	2012/12/5	45	矢澤 徳衛	2013/10/3	52	村田 實	2013/11/26	67	武居 哲彦	2010/12/25						
39	原 彰	2009/9/20	46	小松 五郎	2013/11/19	52	山田 俊二	2014/7/23	67	望月 信夫	2013/12/11						
39	原 雅幸	2015/3/6	46	谷田部千秋	2013/3/21	55	小松 武義	2014/10/15	68	浜 滋明	2012/10/29						
39	藤森 幹夫	2014/2/5	46	藤森 勘次	2014/3/4	55	西澤 賢一	2015/1/10	68	浜 総一郎	2014/11/12						
40	岩波 壽	2011/2/26	47	有賀 邦久	2014/10/15	55	舟岡 克之	2014/6/14	69	永由 稔	2014/10/22						
40	竹田 俊雄	2013/8/6	47	小池雄四郎	2013/6/14	56	岩波 広明	2013/7/17	69	綿貫 五郎	2014/10/22						
40	中村 武夫	2010/9/26	47	下平 政信	2013/8/22	56	北沢 寛	2014/1/3	71	松尾 秀孝	2015/2/9						
40	平沢 茂満	2014/1/20	47	菅沼 龍平	2013/8/27	56	原 政男	2012/12/28	74	矢島 伸一	2008/10/16						
41	今井 光也	2014/5/6	47	竹村 健一	2014/4/19	56	堀川 容平	2013/6/4	75	五味 光善	2014/2/4						
41	岩田 敏雄	2008/	47	矢島 廣人	2013/6/30	56	三沢 理一	2013/11/21	75	東城 一穂	2014/5/26						
41	清水 孝悦	2014/1/27	48	石原 一嘉	2013/10/19	57	小島 仁	2014/7/23	77	武井 義幸	2013/10/30						
41	新村 宇門	2013/1/21	48	大島 幸雄	2014/4/1	57	名取 康	2014/9/8	79	小口 裕行	2015/2/14						
41	藤森 英	201/1/29	48	小池 一雄	2015/1/27	57	矢澤 昌祥	2013/9/22	79	三井 健郎	2013/3/25						
42	小口 周男	2014/11/18	48	五味 努	2012/12/17	57	山田 喜敏	2015/1/28	80	土橋 正明	2014/8/16						
42	武居 弥市	2012/11/12	48	宮澤 欣一	2014/2/23	58	北原 寛	2015/4/16	81	小口 豊文	2014/3/12						
42	増澤 敏弘	2007/8/4	48	林 敬三	2014/12/29	58	木之下 晃	2015/1/12	82	鷹野原 実	2012/10/26						
42	山下 喜淑	2013/7/23	48	矢島 正昭	2013/12/19	58	両角 正治	2013/7/19	85	牛山 善行	2014/3/3						
43	上條 英一	2013/7/2	49	川村 敦彦	2013/7/13	59	吉川 共治	2013/10/5	95	那須大治郎	2010/11/5						

事 務 局 だ よ り

事務局長 矢澤 博 (69 回)

◆一昨年 (H25) 9 月から同窓会員の名簿管理を、昨年 (H26) 7 月から事務局長を、急遽仰せつかり、同窓会事務全般をしております。よろしくご協力致します。

◆今年は母校創立 120 周年を迎え、記念講演会、記念総会、同窓会報、記念名簿発行等、いろいろな諸行事があります。学年幹事・支部幹事さんに情報を提供し支援しますので、ご活用ください。

編 集 後 記

平成 25 年 8 月 15 日。諏訪湖の花火大会のスタッフとして諏訪湖畔にいた私は忘れられない大雨に遭遇した。初めての花火大会中止。私たちはずぶ濡れのまま、徹夜で避難した観客の対応に追われた。16 日夕方ようやく仕事を解放された私は一睡もしないまま、清陵 82 回生の同期会に顔を出した。それが私の当番幹事で会報の編集担当となる始まりだった。自分が 82 回生であることの自覚もなく、同窓会のことも全く知らずにいた私でしたが周りに引きずられるように自分のクラスに声をかけることになり、役員をお願いしても断られるばかり…結局私が会報・広告担当になってしまいました。それでも、「一生に一度しかできない当番幹事」という言葉になんだか納得して頑張ってみました。同窓会事務局や学年幹事、地区支部との連絡、パネリストの方々との打ち合わせなど、今まで全く話したこともない先輩の方々とやり取りの中でなんだかとても素敵な時間を過ごしているような気がしてきました。日本の各地でさまざまな活躍されている方々の話はどれも頷けるものばかりでした。仕方なく始めた幹事でしたがいっばい元気をいただくことができました。ご協力いただいた全ての人々に感謝申し上げます。

(会報・広告担当 82 回生 木島清彦、小林正彦、柏原英尚、平出順一、横内 護、相良明広)

◆平成 27 年度学校同窓会係・事務局

・学校同窓会係：今井隆 (主任・83 回生) 功刀裕 (90 回生) 百瀬登 (92 回生) 五味稔之 (93 回生) 矢崎知広 (88 回生) 武井淳子 (92 回生) 藤森美紀 (103 回生) 井出匡彦 (学校事務長)

・事務局：矢澤博 (事務局長・69 回生・原則として月曜日と木曜日出勤)

TEL/FAX：0266-58-0356

E-mail：dousoukai@suwaseiryoy.jp

HP：http://www.suwaseiryoy.jp



第 41 号 発行：諏訪清陵高校同窓会 発行人：同窓会長 矢崎和広 編集担当：第 82 回生 (昭和 51 年入学)
同窓会事務局：〒 392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL：0266-58-0356

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校 創立 120 周年同窓会記念総会 テーマ

理想の花を咲かせよう

～諏訪清陵創立 120 周年に考える 10 年後の未来～

超高齢化から人口減少という新たな局面に直面している日本、そして母校清陵の未来について、熱い議論の場となるような 120 周年の記念すべき総会にたくさんの方々の出席を是非ともお願い致します。

1895 年 (明治 28 年) 4 月、郷土の人材育成を願い創設され、その頑強な意思を礎として脈々と世界を担うべき卒業生を送り出してきた母校の現在・過去・未来の一端を垣間見る機会を「清陵同窓会報」第 41 号に込めるものです。(丸茂洋一 82 回生)

母校創立 120 周年記念パネルディスカッションのご案内
「10 年後 (2025 年) の日本を語る」(仮題)
～清陵発、同窓生が産業の視点から日本の課題と処方箋を語る～

創立 120 周年、当番幹事となり「あずさ」に乗り帰省する機会が増える。諏訪が近づくと、東に八ヶ岳、西には南アルプスが車窓から目に飛び込む。諏訪湖を囲む、われわれを育んでくれた原風景だ。久しぶりに母校を訪ね、校歌を思い出すと、時代背景を反映し、地元産業を支え、国の基を興し、世界に想いを馳せる有為な人材の輩出を願う建学の精神が流れており、「自治」「千万人」の幟に込められた願いに改めて想いを遣る。記念パネルでは、多様な分野、世代の同窓生が、パネリストとして登壇し、また会報への寄稿でディスカッションに参加する。同窓生が環境配慮、人口減少、国際化等の社会のテーマを考え、10 年後 (2025 年) の日本をダイナミックに論じる場になりたい。東日本震災で絆を感じ、戦後 70 年、混沌とした国際情勢の中で、日本が世界でどのような立場を占めたいと思うか、どんな点で最前列の地位に値する国でありたいか、パネルを通して同輩後輩は基より先輩方・現役清陵生にも何か感じ考えていただける時間にできたらと思う。(北原譲 82 回生)

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校
創立 120 周年同窓会記念

定期総会のご案内

平成 27 年度定期総会 (午後 1 時半より)

日時 平成 27 年 6 月 27 日 (土)

場所 ホテル紅や (諏訪市湖岸通り 2-7-21)

議事 ①平成 26 年度会務・会計報告

②平成 27 年度事業計画・予算案審議

③その他

パネルディスカッション (午後 3 時より)

懇親会 (午後 5 時より)

会費 5,000 円 57 回生以前の学年は無料で招待

懇親会前売りチケットは、当番幹事 82 回生 (小松弘明) 各地区支部、学年幹事まで。当日受付も可
諏訪清陵高校同窓会長 矢崎和広 (幹事 82 回生 次年度幹事 83 回生 サブ幹事 92 回生・102 回生)

特集 1 パネリストからのメッセージ

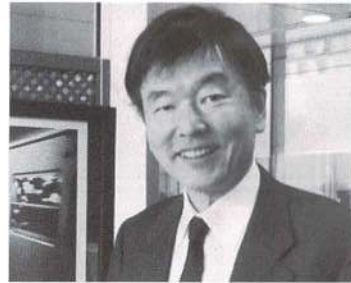


■金融商社分野

原 大

はら たかし

73 回生 諏訪西中、剣道部
早稲田大学政治経済学部卒
三和銀行入行、三菱東京 UFJ 銀行
副頭取を最後に退任
双日株式会社 代表取締役副会長



■先端技術分野

小池 康博

こ いけ やすひろ

76 回生 上諏訪中 慶應義塾大学
大学院工学研究科博士課程修了
高精細ディスプレイ等のフォトニ
クスポリマー分野を開拓
藤原賞、紫綬褒章等を受賞
慶應義塾大学理工学部 教授

「安易な道を選択することばかり考えるな。
実利より社会の役に立つことを目指すべき！」

「サイエンスの真理はひとつ！
大切なことは、ファンダメンタルズに戻ることに」

□清陵の風土と仕事への志

実利的な成功より社会に貢献する方が価値ある生き方だ、と考える風土。また楽な道と厳しい道があれば、敢えて厳しい道を選ぶべし、という精神風土があった。周囲の現実との間で大いに悩みましたが、「一步厳しい環境に、自分を追い込もう」という意志を決めたきっかけになった。そんなことで大学ではボート部に入った。就職の時も選択の基準は知名度や規模の大小などではなく、その企業の風土や、志があるかどうかを重要視していた。現在は商社に身を置き、今の日本が置かれている立場、状況、これから 10 年後の日本は何を目指すべきか等、資源、食料の問題を通じて考えることが出来ることを幸せと感じている。

□社会の課題と処方箋「グローバル/ボーダレス社会」

アジアでは本年末に AEC (ASEAN 経済共同体) が発足し、10 カ国がひとつに結束する。ゆくゆくは関税が撤廃され、縦横の経済回廊が発達して大きく躍進するだろう。日本としては高度な機能や技術を提供することで、ASEAN 諸国の発展に貢献し、一層強固な関係を構築する機会とせねばならない。一方世界的には、格差の問題やそれに起因する移民の排斥、イスラム社会とキリスト教社会の抜き差しならない軋轢など、閉塞的な状況になっている。そんな中で、日本の果たすべき役割を考える時、平和主義で話し合いを重ね、大きな格差を望まず公正を重視する等の日本的な生き方は、物質的にも空間的にも制限的なこれからの世界の在り方の参考となるのではない。

□千万人と雖も・・・イノベーションへの第一歩

始めから皆が納得するようなことは、イノベーションでは無い。サイエンスと真理に裏打ちされた非常識こそイノベーションのファーストステップだと思うが、そういうものを受け入れる土壌が日本には少ない。それは、清陵の千万人が言っても自分はこうだという強い意思が必要であり、もうひとつ必要なのは勇気かもしれない。延長線上である改良であれば大企業でも可能だが、非常識なものはまったくの異分野から出てくる。

□発想の根本にあるもの

私が信じていることは、そこに起きている原理、サイエンスの真理はひとつしかないということ。真理やサイエンスの現象に古い、新しいは無い。世の中にある原理原則を、たまたまその時代に何を利用したかということであって、大切なことは、ファンダメンタルズに戻るということ。「古い新しい」ではなくて「ファンダメンタルズ」。フォトニクスポリマーでは、プラスチックでギガビットの信号が通る筈がないと言われていた。それが 30 数年たって世界最速プラスチック光ファイバーができてきた。30 年を通して知ったことは、必ずしもそのとき最先端の論文が意外と役にたっていないこと。それよりも、100 年前のアインシュタインの揺動説とか、デバイという散乱理論、1949 年のものだが、それが自分のバイブルとなった。最先端のブレークスルーをしようとすればするほどファンダメンタルズに戻ることの大切さを学んだ。

信州諏訪の酒、真澄です。

- 上質な真澄を最適な状態でお客様へ ●真澄でお客様の食卓を和やかに
- 人と街に優しい酒蔵に ●日本酒を世界酒へ

1662 (寛文 2) 年の創業から 350 年あまり。真澄は昨年より一年分背筋を伸ばして四つの夢の実現に励みます。皆様の益々のご健勝をお祈りいたしますと共に、真澄蔵元に倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

www.masumi.co.jp
www.facebook.com/sakemasumi

信州が生んだ天下の銘酒
真澄
MASUMI

七号酵母発祥の酒蔵
宮坂醸造株式会社
〒392-8686 長野県諏訪市元町 1-16
TEL.0266-52-6161 FAX.0266-53-4477

特集 1 パネリストからのメッセージ



■資源エネルギー素材分野

黒田 茂

くろだ しげる

82 回生 下諏訪中、地歴部
京都大学工学部卒 川崎製鉄入社
JFE スチール株式会社
薄板セクター 部長



■生活サービス分野

小松 文美

こまつ あやみ

91 回生 諏訪西中 硬式庭球部 /
演劇部 信州大学理学部生物学科
お茶の水女子大学修士課程家政学
研究科 日本たばこ産業株式会社
医薬事業部医薬情報部 次長

「自他共栄、共に栄えるという意識が
これからのグローバル社会では必須な要素」

「効率的に仕事をして、家庭も大切に
管理職になって、それができるようになった」

□清陵から社会へ

清陵では個人の裁量が大きく、ある意味なんでもできたし、それぞれのキャラクターが許されて、干渉されることなくそれぞれの芽を伸ばすことができた。大学は弓道部で、ギリギリまでの経験をすること、後の会社生活で要求される粘り強さ、どんなことがあっても慌てないで対処できる、といった能力が身につけていくきっかけになった。

□グローバル社会で活躍するために

中国で働く人達は生き生きとしていて、こういう風にやりたいということを自分のことばで話せる人が多い。まったく考え方が違う人と仕事をするためには、自分と他人を意識しなくてはいけない。自他共栄、共に栄えるということが、どこでも通用するやり方だと思っている。自分があって他人がいるということを認識しないと、グローバル社会では仕事もできないし生活もできないということを感じた。

□社会で活躍する要素とは

やりたいことのある人には、チャンスを与えてくれるというのが会社にはあるので、自分がやりたいことを認識し、主張できるということは大切。また、何が起ころうとちゃんと対応ができること、グループを率いるようになってからは、仕事のなかでギリギリの状態を何回も経験してきた。例えば連続稼働しているラインがあと 2 分でとまるというときでも、あきらめず解決することを積み重ねてきたことが良かった。とにかく粘って考え抜いて、厳しい局面をきり抜けていく経験の積み重ねが大切だと思う。

□諏訪人として思うこと

会社に入り、「声が大きいね」、「元気だね」と言われる。これは毎年、厳しい冬を乗り切って培われてきた諏訪特有の気質だと思う。冬の痛い寒さを乗り切ろうというこの勢いが田舎から都会に出ていき、知らない世界に飛び込むバイオニア精神も育まれたと思う。臆せず新しいことに挑戦するのもおかげだと感じる。また、諏訪の女性は、全ての世代で元気に仕事をしている割合が高かったと思うので、女性が仕事を続けることに違和感はなかった。

□仕事のダイナミズム

グローバル化の中で世界から情報を集めなければならず、海外の会社とコンタクトをとる道筋を開拓することにやりがいを感じた。異国の人と仕事を通じて協力関係を作っていくことが楽しかった。コミュニケーションをとることに臆せずできたからだと思う。以前は残業も多かったが、結婚し、子供が生まれてから考えが変わった。時間をかけずに効率的に質の高い仕事をするに努め、いかに定時に家に帰るかということを追求めた。管理職になるとさらに率先して効率的に業務を行えるようになった。さらに予算や企画そしてスケジュールなど自分の采配で動かせることが多く面白くなってきた。このような姿が 20 代後半から 30 代の女性のロールモデルとして紹介された。最近では、管理職になりたがらない人が多いと言われている。責任もついてくるが、決定する範囲が広がり、やりがいを感じることになるだろう。ぜひ機会があればチャレンジしてほしい。

最先端技術にはロマンがある

理想を追求した **イズカットトランス**

ノイズ障害防止の切り札で、近未来に先駆けるトランス型ノイズ防止素子です。



高度情報化社会のアクセス要=不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす
株式会社 電研精機研究所
創業者(工博)矢ヶ崎昭彦(47 回)

本 社：〒203-0042 東京都東久留米市八幡町 1-4-21 TEL 042-473-3745(代) FAX 042-474-0613
大阪営業所：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 1-7-5 TEL 06-6538-1118(代) FAX 06-6538-2777
ノイズトラブル相談室 ノイズトラブルに関するご相談・調査・技術援助等を受けます。URL: http://www.denkensei.co.jp/

寄稿 IT が拓く未来社会

74 回生

岩本 敏男

(株)NTT データ代表取締役社長
東京大学工学部卒 下諏訪町出身

■自己紹介

大学卒業後、当時の電信電話公社に入社し、以来、システムエンジニアとして、日本銀行の決済システムなど多くの公共分野、金融分野のインフラシステム構築に携わってきました。

最近では、10 年ほど前からグローバル化にも本格的に力を入れ、今では売上高約 1 兆 5 千億円、従業員約 7 万 6 千人（海外の従業員数 4 万 3 千人）、拠点は 41 か国・地域、175 都市に広がっています。海外のお客様や IT ベンダー、従業員と接する機会が増え、正にダイバーシティを感じるこの頃です。こうした言語、歴史、文化などが異なる人々との交流では、価値観の共有が大切です。清陵時代に骨身にしみ込んだ「自反而縮、雖千萬人、吾往矣」が私を鼓舞してくれました。自ら信ずる価値観を真剣に話していくと必ず通じるということです。

学生運動の余波が残る清陵時代に学友会長として高校生の自治・本分とは何かなど真剣に考え、当時の学友会メンバーと夜を徹して議論し、翌朝には模造紙に 20 枚ほどの声明を掲示したことは今では懐かしい記憶です。しかし、そうした少し背伸びした鍛錬はその後のビジネス活動の中でも軸をぶらさない姿勢を育んでくれたものと感謝しています。

■社会の課題と処方箋

日本は課題大国と言われます。少子高齢化、エネルギー問題、防災減災、産業構造改革などですが、世界を見渡すとさらに食料問題、人口増大、地政学的リスクなど複雑です。こうした課題に対応する様々な方策が求められますが、そこで IT の力を使うことが不可避になっています。

今では、製造業、流通業、サービス業、農林漁業など全ての産業、さらにはスポーツや芸術、宗教や政治・行政など、あらゆる分野で IT が活用されており、この IT の力をどう使って社会の課

題を解決していくか、真剣に考える時代に入っています。

インターネットが我々の身近に存在し始めたのは、20 年ほど前ですが、今では多くの人がスマホを持ち、欲しい情報を簡単に入手できます。SNS（ツイッターやフェイスブック等）で何時でもバーチャルなコミュニティと繋がります。さらに、様々な物がインターネットに接続されはじめ、ネットショッピングはもとより、効率的な生産や物流、効果的な医療や教育、安全な監視の実現など社会は大きく変化しています。こうした社会の変化を我々が実際に生活をしている実世界と対比してデジタル世界などと呼ばれるようになっていきます。

デジタル世界が現れたのは IT の指数関数的な発展によります。この原動力は、CPU、ストレージ、ネットワークです。私はこれを IT の 3 大要素技術と言っています。

この 20 年間で CPU は 3 百倍、ストレージは 3 千倍、ネットワークに至っては 3 万倍と飛躍的に性能が伸びており、スマホに代表される各種デバイスの驚異的な発展と合わせて、デジタル化が進んでいます。この伸びはまだまだ止まりそうになく、10 年後どんな社会が生まれているか想像すると少し怖さもありますが、この IT の進歩がこれからどんな社会を生み出していくのか予測することが大変重要になります。

そこで、私は NTT DATA Technology Foresight という取り組みを始めています。この取り組みは、まず WEB や書籍、各種の講演会、有識者の意見など様々なソースから情報を収集し、PEST 分析（政策【Politics】、経済【Economics】、社会【Society】、技術【Technology】）により重要な社会課題と技術を抽出します。

今年は「防災と復興」、「サイバーセキュリティ」、「格差問題」など 58 項目の課題と、「人工知能」、「ロボット／ドロー

ン」、「脳科学」など 237 項目の技術を抽出しました。そして、それらを分析した結果、次の 4 つの近未来社会を導出しました。

1. 個の影響力が社会の変革を促進する
2. オープンな共創や連携が加速する
3. 価値の源泉は無形資産の活用に移る
4. フィジカルとデジタルの融合が持続性と迅速性をもたらす

また、こうした社会を実現するため次の 8 つの技術に注目しています。

1. コンピュータの透明化
2. 生命や感情の化学
3. 人工頭脳への挑戦
4. 3D（ディメンジョン）文化の拡大
5. 未来のモビリティ
6. インタラクティブコマース
7. クラウド超競争時代
8. デザインイノベーション

近未来社会を志向しながら、従来の既存概念や成功体験の残像を打ち払い、新しい IT 技術を使って、イノベーションを起こしていくことが、多くの課題を解決していく鍵となるでしょう。

■10 年後の日本、未来予想図

2045 年にはコンピュータが地球上の全人類の能力を超えといわれます。IT の発展が社会の抱える多くの課題を解決し、より豊かな人間社会を生み出していくことは間違いありませんが、逆に、多くの知的労働がコンピュータに置き換わっていくなど、人間社会の根本的な構造すら変化させてしまうことが予想できます。そんな時代には、人間は何をなすべきかという根源的な解を見出す必要があると思います。そんな時には、やはり清陵時代の「自反而縮、雖千萬人、吾往矣」を思い起こすことが大切になっているのかもしれない。

寄稿 成熟国家日本の「総合力」

89 回生

金子 哲哉

丸紅経済研究所 経済調査チーム長
東京大学理学部卒 諏訪市湖南出身

■自己紹介

「清陵出てから 20 年、今じゃ〜」という歌がありますが、わが身を振り返ると卒業して早 30 年。月日の速さに驚くばかりです。

今では東京生活の方が長くなりましたが、目をつぶると、八ヶ岳、諏訪湖などの美しい景色がくっきりと浮かんできます。そうした風光明媚な環境で生まれ育った諏訪人には、自然を愛する人が多いように思われます。中央気象台長を務めた藤原咲平博士など、数々の著名な学者・研究者が輩出されたのもうなずけるところです。

私自身も清陵時代から地球環境問題への関心が強く、1986 年に東京大学理科一類に入学後、理学部地球物理学科に進学しました。当時、酸性雨などの環境破壊が深刻化しており、そうした問題に取り組む必要を感じたためです。就職ではそのような流れの延長線上を進む選択肢もありましたが、語学も好きだったため海外に関わる仕事をしたいと、総合商社の丸紅に入社しました。

これまで社内で様々な仕事を経験してきましたが、若いうちに心血を注いだのは宇宙開発ビジネスです。ここでも縁あって、地球環境に関係する仕事に従事することができました。運輸多目的衛星（MTSAT）という人工衛星を製造するプロジェクトを主に担当し、納入した衛星は気象衛星ひまわり 6 号として打ち上げられました。天気予報で自分が携わった衛星が撮った雲の写真を見るたびに、宇宙でがんばってるな、と嬉しく思ったものです。

■日本の総合力

さて、本寄稿では「課題を挙げ 10 年後の明るい未来への処方箋を示すこと」をお題にいただいておりますが、宇宙開発に携わった経験から申しますと、その鍵は人工衛星「はやぶさ」に見ることができると思います。はやぶさは 2003 年に打ち上げられ、3 億 km も離れた場所にある 500m ほどの大きさしかない小惑星「イトカワ」に到達し、そこへの着陸

をやったのけ、微粒子を採取し、総距離 60 億 km を旅して、2010 年に地球に戻ってきました。途中、幾多のトラブルに見舞われミッション失敗の危機に何度も遭遇したのですが、技術者が様々な知恵を絞りながら衛星を見事に遠隔操縦し、生還を成し遂げたのです。日本の高い技術力、トラブルに遭遇しての機転・対応力、逆境に負けない強い心などが結実した奇跡であります。

この例で何を申し上げたいかと言いますと、日本には「高い技術力」に加え「優秀な人材」「勤勉さ」「粘り強さ」、さらに「気配り」「おもてなし」といった固有の長所が多数あり、それらの「総合力」は、わが国ならではの、世界に誇れる強みであるという点です。日本の製品・サービスの「高品質」「高信頼性」「きめ細かさ」「安全」「安心」、そして「全体の完成度の高さ」などは、他国には容易に真似できないものだと思います。この強みは様々な分野で発揮されており、例えば鉄道については、日本ほど電車が時間通りに発着し、かつ高速鉄道が安全に運行されている国はありません。また、身近なところでは、日本ではあたりまえのようにタクシーのドアが自動で開きますが、他国ではほとんど手で開けなくてはならず、日本の「おもてなし」の素晴らしさを実感します。国際競争では新興国等の追い上げが厳しくなっていますが、こうした「総合力」の発露において、日本は決して負けないと思います。

■「質の高い」発展に向けて

日本は「総合力」を有しながら、一足早く成熟国となりました。そうした日本の責務は、持てる強みに一層磨きをかけ、それを生かしながら、世界経済の「質の高い」発展に向けて尽くすことではないでしょうか。今後、新興国を中心に、経済成長に伴い食料や資源、インフラなどの需要が増大していきますが、資源の枯渇や地球温暖化といった課題が顕在化する中、地球にやさしい社会を構築し、環境負荷を軽減していかなくてはなりません。

ん。そのためには、優れた省資源・省エネルギーを持った製品やサービスを普及させる必要があります。まさに「総合力」を有する日本の出番であると考えます。例えば弊社では、温暖化ガスの排出量が比較的少ない石炭火力発電所や、自然の力を生かした風力発電所の建設・運営などを世界各地で展開していますが、こうした日本企業の取り組みは、様々な分野で一層求められることになるでしょう。

■2025 年未来予想図

日本自身が発展していくためにも、「総合力」の強化は極めて重要です。少子高齢化の進展は不可避ですが、そうした中でも、技術開発や人材育成、教育に力を入れ、生産性を高めることで、潜在成長率を引き上げ、持続的な発展を遂げることは可能はずです。IT やロボット技術を駆使することなどにより、新たなライフスタイルの未来が拓けてくることでしょう。

海外から人材や資金を呼び込んでいくという視点も重要です。日本には諏訪のような美しい自然が沢山ありますので、「観光」のポテンシャルも大きいと思います。「おもてなし」力を発揮し、多くの外国人旅行客を迎えることで、消費を喚起することも可能になります。また、規制改革を進めビジネス環境を整備し、日本の魅力がさらに高まれば、海外からの投資も拡大していくでしょう。こうした成長の源泉を海外からも取り込めれば、さらなる国内経済の活発化につなげることができます。

清陵には、先輩が後輩に範を垂れる良き伝統があります。日本も一足先に成熟した先輩国家として、「総合力」を一層発揮し、国際社会に手本を見せながら、「質の高い」世界経済の発展に尽力すべきであると思います。生まれ故郷、諏訪の景色を思い浮かべながら、こんな将来像を思い描いた次第です。

創立 120 周年記念手ぬぐい発売！
82 回クリエイティブチームによるオリジナル限定の逸品

如何なるときも、強い信念を持って、
自分の人生は、自分で切り拓いていく。
そんなあなたを応援する手ぬぐいを作りました。

書：篠原誠一（82 回）・デザイン：小林正彦（82 回）

反応染料染め手ぬぐい

価格 700 円

（税込 送料別）
特別価格：2 枚以上 600 円 / 枚

お申し込みはインターネットから
https://sites.google.com/site/suwaseiry082/tenugui



旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校創立 120 周年
同窓会記念総会

平成 27 年

6 月 27 日（土）
ホテル紅や



思い出に残る懇親会を目指します

多くの同窓生に参加頂けるよう、80 歳以上の方の会費を無料に。また諏訪の地酒の試飲コーナー、清陵の名入りのミニ酒升、更に 120 周年記念のデザイン手拭いの販売等盛りだくさんの企画を用意しています。

- 80 歳以上の大先輩（57 回生以前の学年）は無料でご招待、特別テーブルをご準備します
- 諏訪響同窓生によるウエルカム演奏をします。（諏訪響・理事長 丸茂洋一）
- 諏訪 九蔵の地酒試飲コーナーを設け、同窓蔵人が振る舞います。
- 周年記念行事として、同窓会よりミニ酒升を参加者全員に進呈します。（小堀洞和善）
- 当番幹事・次年度・プレ幹事代表用の法被を 82 回生から寄贈します。（小林正彦）

寄稿 人口減少社会を迎えて

95 回生

村上あかね

桃山学院大学社会学部・准教授
大阪大学大学院人間科学研究科卒 諏訪市湖南出身

■自己紹介

元号が平成に変わり、新校舎が完成した年に入学しました。第二次ベビーブーム世代だったので9クラスもありました。さまざまな才能や知的好奇心を持った方が多く、大きな刺激を受けた3年間でした。みなさんのおかげで現在の私があり、感謝の気持ちでいっぱいです。清陵は理系を重視する高校でしたので文系の私も苦勞しながら理系科目を学びましたが、それが今の仕事の基礎になっていますから人生とはわからないものです。在校生のみなさんには、若いうちは適性を決めつけずに幅広く勉強したり教養を身につけたりして多くのことにチャレンジしてくださいよう希望します。

今の仕事は大学での研究と教育です。調査データを統計的に分析し、1990年代以降の日本社会の変化が結婚・出産、消費にどのような影響を与えたか、それはなぜかを考えています。分析の結果が予想通りだったときも面白いですし、そうでなかったときもそれはそれで面白いと感じています。社会の現実を把握し、現実の複雑さをいかにシンプルに説明するかが統計分析の醍醐味の一つでしょう。授業では、社会調査や統計学、ジェンダー論、ゼミを担当しています。正解がない問題を多方面から考えるきっかけとなるように、試行錯誤しながら工夫する日々です。

■課題と処方箋

人口減少社会を中心に、グローバル／ボーダーレス社会について触れたいと思います。

総務省統計局によれば、日本の総人口は2008年の1億2,808万人をピークに減少し、2015年には1億2,659万人、2025年には1億2,065万人になると推計されています。重要なことは、人口に占める高齢者の割合はむしろ増えることです。結婚しない人が増えていますし、結

婚年齢も上昇しているため、子どもは1人という家族もみられます。背景には雇用の不安定化がありますが、それはグローバル化と無縁ではありません。

課題は多々ありますが、労働力が不足するために企業の生産活動が円滑に進まないこと、消費者（とくに活発に消費をする若者）が減るために消費が低迷することが挙げられます。そのため、賃金は減り、税収も減少し、公共サービスの供給は減少します。そうなれば人は住まなくなります。人が減れば住民同士の助け合いも難しくなりますし、住居が空家のままであれば犯罪のリスクも高くなります。耕作放棄地が増えれば環境にも影響があるでしょう。

処方箋は高齢者と女性の就業率、とくに女性の就業率を上げることです。よく「女性が社会進出した」と言われますが、結婚～子育て期に退職する女性が7割近いのが日本の現状です。多くの先進国では子育て期に退職する女性は少なくなっており、女性の就業率が高い国のほうが出生率も高くなっています。「女性が家事育児をすることが日本の伝統」との意見もしばしば聞かれますが、戦後しばらくの間は女性も子どもも働いていました。女性が専業主婦になれたり、子どもも進学できるようになったのは日本が豊かになったからです。いまや男性一人の収入で家族を養うことは難しい時代になり、労働力不足も深刻です。それが安倍政権が「女性が輝く社会」を目指す理由です。ただし、保育所が不足し、男性の長時間労働が常態化している現状では、子育て期の女性が働くことは容易ではありません。これらの要因を解決する必要があります。

外国人労働者を本格的に受け入れることによって労働力不足を解決しようとい

う政策も検討されているようです。とはいえ、いまの日本はバブル期とは異なり魅力的な働き先ではありません。円安ですし、差別は解消されるどころかむしろ激しくなっています。しかし、今後のグローバル／ボーダーレス社会においては、異なる他者と共生しようとする姿勢が求められるでしょう。

日本が直面する課題に対して、歴史や他国の例に学びながらできるだけ多くの処方箋を考え、行動に移すことが重要だと思います。

■2025年未来予想図

人口減少と並行して大都市圏への人口集中が進むでしょう。諏訪地方の中では下諏訪町が消滅可能性があると言われているかもしれません。若者の雇用を生み出すことが、地方が生き残るためのカギとなりそうです。少ない税収でも公共サービスを提供できるよう、住民を集住させるというアイデア（コンパクトシティ構想）も一部で実行に移されていますが、家や土地などの私有財産をどうするか難しい問題を抱えています。NPOによる地域活性化の取り組みも各地で行われていますが、その役割はますます重要になるでしょう。

外国人労働者は増えるかどうかわかりませんが、外国人観光客は確実に増加することが見込まれます。よりよい仕事を求めて日本から海外に出る人も増えると言われます。

このような社会の変化に柔軟に対応できれば、明るい未来もみえるでしょう。

寄稿 カーボン0をめざして

82 回生

竹内 雅彦

清水建設㈱プロジェクト設計部2部 部長
早稲田大学理工学部卒 下諏訪町出身

■私と建設業

建設業の設計部門における仕事のやりがいには目に見えるかたちで社会的・文化的・経済的価値を実感できることにある。まっさらな土地に事業主（施主）、周囲の人々や完成後使用する人たち（社会）のそれぞれの思いを考えながら描いた設計図書がもとなり、大勢のものづくりに関わる人たちの知恵と努力によって建物が完成する。できた建物は運用されながら少なくとも数十年の間は様々な人々に影響を与えながら使われていく。

清陵時代の進路は正直迷っていた。あえていえば父が土木関係の公務員だったことで小さい時からなんとなく身近に感じていたこと、絵を描くことが好きだったので純粋な理学よりは工学やものづくりに関わる道に進みたかったくらいだと思う。当初は何気なく選んだ道ではあったが、建築（設計）という仕事は至極まっとうな職業だと最近感じており、選択は間違いではなかったと感じている。

■建築と省エネ・エコ社会

有限の地球、環境の時代と言われて久しい。1997年の京都議定書の削減プログラムは思う通りには進まなかった。建設業も持続可能な社会構造への転換が迫られている。転換には技術・制度・精神の3つの変革が不可欠であろう。

自分が設計に携わった、弊社の本社建設プロジェクトでは「超環境オフィスの創造」を一つのコンセプトに置いた。要素技術の投資対効果という当時の視点から脱却し、地球環境という価値観で建築全体の環境負荷を最小にするというパラダイムの転換をテーマとした。自然エネルギーを活用する環境システムや、それに応答する建築・構造デザインについては、設計プロセスにおいて様々な開発、実験、検証をくりかえし行い現実のものとした。

結果、建物は設計を開始した2005年度の東京都の一般オフィスビルと比較し

て建物全体のカーボン排出量を62%削減できるオフィスビルとして現在運用されている。建築が社会とかかわる以上、今後も建物の省エネルギー化は大きな課題の一つとなろう。目指すべき技術開発の究極は原始大きな木の下、木蔭で雨風・陽射しを防いだ様な、柔らかな光と風を感じる建築のなりたちをもう一度原点に戻って考える必要があると思っている。

■建設業と人口減少社会

建設に関わる就業者が減っている。少子・高齢化の影響もあるが低賃金で危ない、汚いといった認識により、建設業にたずさわりたいという若者が減っている。バブルの90年前半と比較すると、建設投資金額が84兆から40兆へと半減。他の業態に比較しても労働者が高齢化、若年層の割合が低いという歪な就業状況が続き、建設業への入職年代人口は6.4%から2.4%に激減した。今後は社会に建設業の持つ「ものづくりの価値」を広く知らしめるとともに建設業自体も受注競争による低利益に走らず、他の業態と同程度の利益率を得るものに変えていく必要がある。

女性の設計者や現場管理者は他の産業に比べると遅いが増え始めてはいる。設計で言えば女性の感性が建物の空間やデザインに及ぼす影響は大きい。長く大事に使うといった、女性に多い考え方もこれからの社会の流れに合致している。

■グローバル化と国際競争力

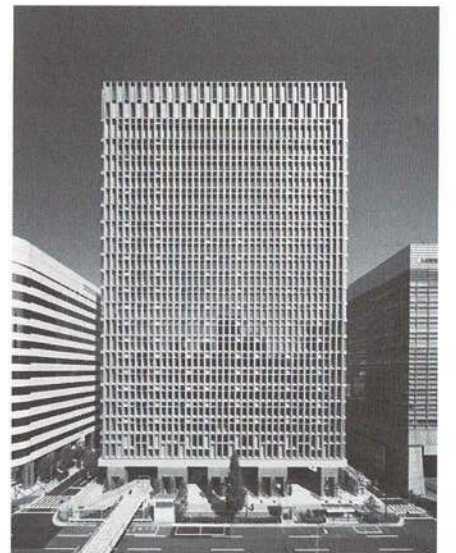
2020年のオリンピックの関連事業による建設業の活況は今後予想されるが、長期的に見て日本の市場は今後は増えない。利益を優先するのではなく、むしろこれを契機にしっかりと技術のイノベーションと日本人が持つものづくりへの感性を世界に示すべきだと考える。そのうえでアジアを中心とした海外の需要に競争力を持って取り組んでいきたい。決められた工程内に高品質の建物を確実に

に提供するといった、日本人なら当たり前の仕事への取り組みこそ、ものづくりを生業とする建設業の基本だろう。

■2025年 未来予想図

オリンピックによる社会インフラの再整備を無駄にすることなく、建築の持つ、そしてそれを創る建設業の「社会的・文化的・経済的価値」を社会に認識して頂く様まずは頑張らねばなるまい。安かろう良かろうではなく、真に社会に貢献する施設の建設や街並み再編、都市計画の推進がこれからの100年の日本の基盤を作っていく。

オリンピック後は都市だけが富むことなく、地方におけるコンパクトなまちづくりに目を向けるべきだ。地域経済も縮小していく中、観光や産業だけに頼らず医療、福祉、農業などに特化した特色あるまちづくりが重要だ。建築に関わってきた自分の会社人生とその後においてこうした仕事に少なからず関われることは大変うれしく思う。



清水建設㈱本社ビル

株式会社 サンコー

電気機器部品製造
・精密プレス金型及び部品製造
・プラスチック金型及び部品製造
・OA、AV、車載メカ

本社 〒399-0782 長野県塩尻市広丘野村 959
TEL 0263-52-2918 (代) FAX. 0263-52-3340
http://www.sko.co.jp
東京証券取引所市場第二部上場
工場 塩尻市 安曇野市 久留米市

代表取締役社長 竹村 潔 79 回生
執行役員生産本部長 平出 順一 82 回生

真のパートナーであり続けること

金型技術の力を礎に半世紀にわたる研鑽を積み、
高精度電子部品や自動車関連部品など、幅広い分野に生産の枠を広げることができました。
また現在では単なる部品製造だけでなく、
ものづくりの全プロセスにおいてお客様に協力させて頂いております。
時代と共に成長を続けるサンコーはお客様の真のパートナーであり続けます。

**82 回生の
歯医者
よろしく**

今井歯科医院
院長 今井 俊彦 (82 回生)
〒391-0011 茅野市 玉川 5024-1
TEL 0266-82-3066

浦野歯科医院
院長 浦野 順 (82 回生)
〒394-0048 岡谷市 川岸上 1-22-14
TEL 0266-22-2854

こなみ歯科医院
院長 柏原 英尚 (82 回生)
〒329-0131 諏訪市 湖南 5882-5
TEL 0266-54-1678

根橋歯科医院
院長 根橋 克明 (82 回生)
〒392-0024 諏訪市 小和田 6-19
TEL 0266-52-1562



母校創立 120 周年を 迎えて

同窓会長 矢崎和広 (68 回生)

1895 年 (明治 28 年) 諏訪清陵高校が創立されて以来本年で 120 周年を迎えることができました。母校は諏訪地域の期待に応えて、各界に多くの指導的役割を果たす優れた人材を輩出し今日に至りました。同窓会長をお受けしてから、全国 12 支部の総会をはじめとしていくつかの会合に出席させていただき、母校の伝統とその人材の豊かさを改めて認識した一年間でした。特に初めて参加させていただいた「清陵勉強会」には感銘を受けました。「清陵勉強会」は 1990 年に第一回勉強会を立ち上げてから今日まで四半世紀にわたり継続してこれ、本年 2 月 28 日に 150 回記念講演会が開催されました。150 回のほとんどが同窓生を講師とし、質の高い講義と質疑が行われてきました。150 回それぞれの講師は多士済々で、まさに「諏訪清陵の知の力」を示す勉強会といえます。

さて本年度は 120 周年の記念すべき年であります。前松下会長時代に完了した事業も含め、改めて記念事業を整理させていただきます。

○学習環境の充実

- ・(財) 諏訪清陵会より高校の各教室に天井扇風機を 148 台設置
- ・付属中学校の各教室に電子黒板付きプロジェクターの設置およびラウンジの備品の充実

○同窓会会員名簿の発行

○中学校、高校それぞれの学校案内ビデオの作成

○120 周年記念同窓会の開催 (6 月 27 日土曜日)

○120 周年記念式典の開催 (10 月 24 日土曜日)

なお 120 周年記念式典 (清陵高校体育館で開催) における記念講演の講師を、当校教頭の守屋先生 (H26 当時) が大学同期であるというご縁で、ノーベル物理学賞を受賞された天野浩名古屋大学教授にお願いすることができました。守屋教頭先生と大学の研究室にお伺いし、正式にご快諾いただくことができました時には二人とも大変感激いたしました。天野先生にご講演いただくことによって、生徒達の得るものの大きさは計り知れないものがあります。

付属中学校が開校して一年が経過しました。私は清陵高校への中高一貫教育の導入こそ、創立 120 周年事業の最大の柱だと考えてきました。昨年の 4 月 5 日、開校式並びに入学式における 80 人の新入生の澁刺とした希望に満ちた制服姿を目にして、私も県教育委員会委員長として関わってきたことから感慨無量のものがありました。信州教育の伝統は、研鑽を続ける教師に子供たちが真正面から応え、そして地域が懸命に学校を支えていくことだと言われてきました。本来学校は地域社会共同の子育ての場であるという理念を柱に、同窓会はその中心的役割を果たしていきたいと思っています。同窓会会員の皆様の力強いご支援を心からお願い申し上げます。



天祐 — 高大接続改革を契機に —

学校長 石城 正志

本校は、昨年度、附属中学校を開校し、中高一貫校としてのスタートを切ったが、それを待っていたかのように、高大接続の大改革が発表された。

その内容を一言でいえば、暗記した知識を素早く正確に再現するような大学入試をやめ、知識・技能を活用し、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、その成果を表現するために必要な思考力・判断力・表現力を評価し選抜するということだ。

そのような学力を従来のセンター試験で計ることはできないから、テストは CBT (Computer Based Testing) とし、各大学での選抜も、小論文、プレゼン、集団討論、面接を中心にするという。CBT 方式だと受験生はタブレットで試験を受けるが、そうするとバーチャル実験をし、その結果をレポートするといった試験が可能となり、思考力・判断力・表現力が計れるという。

これが実現すれば、高校でも、教師は電子黒板で解説し、生徒はタブレットに解答するようになり、一方的な講義も、アクティブラーニング (実際にやってみて考える、意見を出し合って考える、わかりやすく情報をまとめ直す、など活動をとおして思考を活性化する学習形態) に変わらざるを得ないだろう。しかも実施は 6 年後だというから、まさに待ったなしだ。

では、本校はこの大改革にどう対応するか、そもそも対応できるのかと言えば、いち早く対応し、むしろ改革をリードすべきであり、そのとき県内進学校のなかで本校が最も有利な位置を占めているというのが私の考えだ。

本校は 13 年 SSH 事業を継続して来た。受験勉強の妨げになると批判された時期もあったが 13 年間こつこつとノーハウを蓄積してきた。課題探究の経験なしには大学入試に対応できない状況が生まれたいま、全面展開の準備は十分整っているというのが本校の現状だ。

また、附属中学では、同窓会の御支援によりすでに電子黒板が配備され、アクティブラーニングも日常的に行われている。6 年後実施ということは、今春、中学に入学した生徒が最初の受験生となるわけだが、対象生徒を目の前にしながら、この生徒をどう育てればいいのか検討できるのも他校にはないメリットだ。

これは、本校が失いかけた輝きを取り戻すための「天祐」だ。しかし、どれほど有利な位置にいても、どれほど精力的に取り組んでも、中高あわせて 70 名弱の教職員の能力には限界がある。ここはひとつ、同窓生の皆様のお力を、教育資源として最大限に活用させていただきたいところである。創立 120 周年という特別な年だからこそ、同窓生の皆様の熱き母校愛に大いに期待させていただきたい。

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校 創立 120 周年同窓会記念式典

2014 年ノーベル物理学賞授賞

天野 浩先生が来訪！



天野 浩<略歴>

1960 年 9 月、浜松市生まれ。名古屋大学の赤崎研究室で青色発光ダイオード (LED) の研究に従事。1988 年名古屋大学助手。1989 年名古屋大学大学院で工学博士号取得。1998 年名城大学助教授を経て、2002 年名城大学教授。2010 年に名古屋大学大学院教授。専門分野は電子・電気材料工学。2002 年武田賞を赤崎勇氏、中村修二氏と共に受賞。2014 年 11 月に中村修二氏らと共に文化勲章を受章。2014 年 12 月に赤崎勇氏、中村修二氏らと共にノーベル物理学賞を受賞。

旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校は、明治 28 年 (1895 年) に設立され、平成 27 年 (2015 年) に創立 120 周年を迎えることとなりました。このたび、10 月 24 日に記念式典を開催いたします。多くの皆様に御来臨賜りますよう 謹んで御案内申し上げます。詳細につきましては、別途告知いたします。

120 周年記念講演会 「世界を照らす LED」

青色 LED の実現に貢献した業績でノーベル物理学賞を受賞された、天野浩・名古屋大教授をお迎えします

2015 年

10 月 24 日 (土)

記念式典：13:00～13:50 (予定)

記念講演会：14:00～15:30 (予定)

講 師 名古屋大学大学院工学研究科
電子情報システム専攻

天野 浩 教授

場 所 本校 大体育館
(小体育館：ライブビューイング)

PTA 主催祝賀会：18:00～ホテル紅や
(予定)

120 周年記念事業

□同窓会会員名簿発刊 (販売価格 1 部 5,000 円)

□母校記録ビデオ制作 母校年間行事記録

□記念誌発行 母校 120 年史 (母校校史記録)

□教育設備寄贈 (第 3 年次)

附属中学教室プロジェクターほか清陵会館ストップ、畳替

地域と
歩み続けます



<http://www.nagano-np.co.jp>

本社 / 〒392-8611
諏訪市高島 3 丁目 1323-1
TEL 0266-52-2000

長野支社・伊那支社・東京支社
諏訪湖総支局・茅野総支局
松本支局・富士見支局
駒ヶ根支局・辰野支局

退任のご挨拶

—母校の発展を期し、熱き思いを寄せて—

前会長 松下 勲



会員各位におかれましては、益々ご清祥にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

本年は、折しも母校創立 120 周年の節目の年、これまで 2 万 7 千 8 百有余の同窓各位によって培われてきた長い歴史と伝統に改めて思いを馳せる時、その感慨も一入です。

さて、顧みれば、皆様には平成 7 年母校創立百周年記念事業をはじめ、校長在任中より後輩生徒たちの学習環境の整備・充実に多大なご支援を賜り、また、平成 20 年会長就任以来、3 期 6 年に亘り、本部や各支部役員の方々をはじめ、会員各位には本会の活動に格別のご理解とご協力を賜りました。茲に改めて心からの感謝と御礼を申し上げます。

思い起こせば、様々なことが頭を過りますが、何時も念頭にあったのは、副会長時代からの懸案であった教育改革の一環としての母校への中高一貫教育の導入です。

諏訪地区中学生の地区外流出現象に端を発したこの問題は、母校や地域にとっても座視できない事態であり、母校がより魅力のある学校となるよう強い願いと期待を込めて取り組まれた訳ですが、母校としては戦後の新教育制度施行以来の大きな改革となりました。

この間凡そ 8 年の長きに亘りましたが、地区義務教育の諸先生方をはじめ、多くの方々のご理解・ご協力が得られる中で、本会としても母校、並びに県教委の動向を踏まえ、中高一貫教育に係る学習会、先進諸学校への視察、常任幹事会、幹事会、本会総会での審議や各支部総会、会報での報告、並びに知事、県教委への要望書の提出を行い、開校に際しては、校舎・教室等の施設・設備の充実など、学習環境の整備に温かな支援を贈りました。

既に新生附属中学校生徒たちの活躍振りが種々報道されておりますが、昨年 4 月の附属中学校開校式・入学式にお

ける生徒一人ひとりの真剣な眼差しを見るにつけ、個性、能力、適性等の多様な生徒たちが、高い志を胸に大地に確りと根を張り、伸び伸びと大きく育つよう、心からの期待とエールを送りました。

近年、地球規模での様々な資源の枯渇問題や修復困難な自然破壊が進む中で、我が国においても、エネルギーの原発依存回帰や放射性汚染物質等の処理問題、利払いが国家予算を圧迫する膨大な国債、貧富の格差拡大と世代間の連鎖・固定化、雇用環境の不安定化、制御が困難な情報の氾濫など、政治・経済、社会に係る課題は山積しております。

こうした状況下にあつて、昨今、目先のことに右顧左眄し、将来懸念される深刻な結果については余所事と考えるような「課題先送り」型思考や生き方が屡々見られます。

資源の乏しい我が国では、人材の育成こそ将来に向けての重要な課題であると思われませんが、教育機会の不均等問題をはじめ、人、物などソフト・ハード面における学習環境の改善など課題も多く、教育予算一つを見ても、先進諸国の中では、国家予算に占める割合が最低位に近いのが現状です。

「百俵の米も食えば…、教育にあてれば明日の一万俵、百万俵・」ではありませんが、教育に関わる諸課題も「先送り」型措置に止まることのないようお願い、私たちには、次代を担う子どもたち一人ひとりが幸せな人生を送ることができる世の中にする責務が課せられていることを深く心に刻み、今後も生き方の指針としてゆきたいと思っております。

母校の更なる発展を切に願い、熱き思いを寄せながら、会員各位、並びにご家族の皆様方の益々のご清栄とご多幸を心よりご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

整形外科・リウマチ科

医療法人 **大和整形外科医院**

大和 俊彦 (82 回)

〒392-0022 諏訪市高島 1-14-1
TEL 0266-52-3098 FAX 0266-58-9507

環境にやさしく災害に強い LP ガス

株式会社 諏訪プロパン

灯油配送 住宅設備機器 太陽光発電 リフォーム工事

代表取締役 **五味 清隆** (45 回生)

〒391-0013 長野県茅野市宮川西茅野 6057-9
TEL 0266-72-0176
FAX 0266-72-0144
http://sp-gas.co.jp

定期総会の記 (平成 26 年度)

80 回生からのアドバイスを受けての事前準備

私たちは幹事引継ぎに際し、課題は①同窓会総会・懇親会費用の赤字負担、②パネルディスカッション-懇親会の適切な企画と運営、③同窓会報の余裕を持った送付、とのアドバイスを先輩から頂きました。そこで平成 25 年度同窓会総会には大勢の 81 回生に集まって貰い、課題を共有しました。その上で 11 月の同級会で、「81 回生としての赤字負担はしない」、「会報の日程管理に努める」、と大きな方向性を決めました。具体的には「予算・費用管理の徹底」、「懇親会参加者増への取組み」、「同窓会本体との連携」、「同窓会報への広告数の増加」を実現するため、各部会を発足し活動するとともに、電子メールやホームページによる情報の確実な伝達に努めました。

パネルディスカッション

平成 26 年新年の幹事会（飲み会！）にて様々なテーマ案が出ましたが、皆が興味を持つであろう「今、私たちの命に起こっていること」を選定しました。事前にチラシを作成し、学校、学年幹事、支部長他、大勢に配布し出席者を募りました。当日はパネラーである北條 史彦君（医）、大島 一二君（食）、篠原 菊紀君（脳）が現場からの視点で最新情報を分かりやすく説明してくれ、聴講された皆様との質疑応答も活発にされました。

懇親会

幹事学年はホスト役に徹し、多くの皆様に着席頂きまし

た。旧友や新しい友人と語り合い、杯を傾け、楽しい一時をお過ごし頂けたことと思いますが、如何でしたでしょうか？

幸いなことに大勢の参加を得ることができ、結果として「黒字」となりました。有難うございました。

清陵同窓会会報

複数社からの見積りをとり、印刷会社を選定しました。そして原稿入手・校正・印刷での納期管理を徹底しました。定期総会案内を兼ねる会報の適時送付が出来たことは、私達の喜びです。また会報へ多くの皆様から広告を頂き、その全てを同窓会に納めることができたことに感謝しております。

私達 81 回生が得たもの

同窓会総会の幹事学年として、長い間交流のなかった 81 回生が再び出合う場となり、同じ目標に向かって一緒に活動することができました。そして皆でおいしい酒を酌み交わすことができました。ここから私たちの集まりは始まります。

81 回生のみんな、毎年 6 月最終土曜日の午後は諏訪の紅やに集まろう！そして毎年 11 月最終土曜日には横谷峡温泉で同級会をやるよ！

山村 宜男 (81 回生)



この街と生きていく。

これは諏訪地域に本店のある地元の金融機関として地域との共存共栄をめざす諏訪信金の決意です。



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

会長 花岡 枉好 (68 回)

清 陵 同 窓 会 小 史

母校の創立 120 周年にあたり、同窓会報では「清陵同窓会小史」を掲載することとしました。10 年前、110 周年の第 31 号清陵同窓会報で同窓会の創立、記念館建立と火災による取り壊し、また会員名簿の発刊等当時の状況や経過の概要が既に掲載されておりますので、今回もその概要を再掲させていただくとともに、110 周年（平成 17 年）～120 周年（平成 27 年）の 10 年間の同窓会の行事や出来事を掲載いたします。

同窓会の創立

清陵高等学校の前身である諏訪中学校の同窓会は、明治 36 年（1903）8 月 15 日に母校を会場としてその第一回が開催されている。学友会誌第 1 号には「諏訪中学校卒業生第一回同窓会記事」としてその間の事情が記されている。それによれば、

本校も卒業生を出すこともはや 4 回に及び卒業生中或は実業に従事するもあり、或は高等の学校に就学する者ありて、彼は京に彼は郷に、各其地を異にし在学中親しかりし者も相互の交情日に疎からんとするに至れり。茲に数名の校友相計り専ら旧を情暖むるを旨とし、8 月 15 日諏訪中学校内に第一回総会を開きぬ。…総員 23 名の会合なりき。茶菓を喫しながら談笑数刻、云々

とあり、諏訪中学校創立後数年を経ずして同窓会が創立され、「旧情」を暖め合う機会であったことが記されている。同時に同窓会の規約が定められ、会の役員も互選によって決められた。注目すべきは、郷里の 2 名と並んで東京支部から 2 名の役員が挙げられていることで、当初から東京方面の同窓生と密接なつながりを持ちながらの発会であることがわかる。その後東京支部は郷里に先駆けて翌年 1 月には支部同窓会を開き、活発な活動ぶりを示している。

記念館建立と会員名簿の発刊

本部総会の記事は、その後も数回にわたり学友会誌に記載されたものの、大正年間に入ると組織的活動はほとんど取り立てるものが見られなかった。

大正 13 年に入り、同窓会は再び舞台に姿を現す。同年は母校創立 30 周年の記念すべき年であったが、たまたまその年に生徒寄宿舎が炎上し、様々な経緯の後、跡地に諏訪中学校創立 30 周年記念事業として記念館建設の話が持ち上がった。同窓生中心に募金を募り、昭和 2 年 5 月に竣工した。その後昭和 31 年になり、記念館は学友会館として学友会に貸与され、学友会活動の拠点として大いに利用されてきた。しかしながら、会館はその後再三に

渡って火災を起こし、49 年に取り壊し撤去の憂き目を見るに至った。

大正 14 年 11 月、諏訪中学校は創立 30 周年記念式を挙行したが、同窓会は「諏訪中学校創立 30 周年記念会」の名をもって、初めての会員名簿を発行した。しかしながら、同窓会はこれらの大事業遂行の後沈黙を守り、次に目を覚ましたのは創立 40 周年に当たる昭和 10 年のことであった。この年、同窓会は再びの設立総会を開き、会則を定め、会長以下諸役員の選任を行った。その後 12 年度まで総会を開催し、懇親会等も持たれたが、時局切迫の折から以後は見るべき活動もなく、23 年の新制高校発足を迎えることになる。

諏訪清陵高校同窓会発足

昭和 23 年 4 月に母校は長野県諏訪清陵高等学校となった。同年 7 月には高校昇格記念祭が行われ、学友会によって様々な行事が行われた。記念式の後、それぞれに斯界の権威である篠達喜人、八幡一郎、藤原咲平の三氏による記念講演が行われた。同日午後、同窓会総会が開催され、新制高等学校となった母校の前途を祝するとともに、再出発を期して会則の改変並びに役員の改選を行った。

さらに、昭和 24 年 4 月に、3 回目の同窓会会員名簿を発行するとともに、翌 25 年 8 月に総会を開催し、会則の改訂を行っている。

また諏訪清陵高校となり、同窓会も 25 年から 26 年にかけて各地に支部が結成され、それぞれの支部では活動が現在まで継続して持たれている。

黎明像の建立

その後の同窓会の活動で特筆すべきこととして、昭和 34 年度の黎明像建立が挙げられる。これは同年、永年月にわたった校舎改築事業が完工を見、それを祝って後の芸術院会員の清水多嘉示（17 回）の同級生が中心となって同人制作のブロンズ像を母校に贈ったものである。黎明と名付けられた像は、多くの同窓生にとって清陵に繋がる絆として懐かしいものである。

三沢文庫の創設

昭和 41 年は母校創立 70 周年にあたり、母校では創立記念日の 4 月 25 日に記念式を行うとともに、本会では三澤勝衛先生記念文庫落成祝賀式並びに開館式を挙行した。

創立 110 周年（平成 17 年）～120 周年（平成 27 年）

◆平成 17 年

4. 5 諏訪清陵高校 111 回生入学式 新入生 243 名(女子 110 名) 林尚孝会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.20 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要(地藏寺)
- 5.28 諏訪清陵会理事会(母校応接室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.25 創立 110 周年記念講演 山田洋次監督「映画と私」(諏訪市文化センター)
- 6.25 定期総会(ホテル紅や) ※清陵フォーラム「我が人生をかえりみて縮くんば－林尚孝氏・茅野實氏・生越万里子氏」

◆平成 18 年

- 1.12 創立 110 周年記念「会員名簿」発送開始
- 2.18 諏訪清陵会理事会(母校応接室)・常任幹事会・幹事会(清陵会館)
3. 4 母校第 109 回生卒業式 卒業生 244 名(女子 114 名) 林尚孝会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 5 第 29 代校長古原正之(諏訪二葉高校長) 就任
4. 5 諏訪清陵高校 112 回生入学式 新入生 242 名(女子 105 名) 林尚孝会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.20 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要(地藏寺)

- 5.27 諏訪清陵会理事会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.24 定期総会(ホテル紅や) ※記念講演「サクセスフルエイジングを考える－鳥羽研二氏」
12. 1 母校の将来に関して意見交換／学校長・同窓会役員(清陵会館)

◆平成 19 年

2. 5 母校の将来に関して意見交換／学校長・同窓会役員(清陵会館)
- 2.17 諏訪清陵会理事・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 3 母校第 110 回生卒業式 卒業生 237 名(女子 82 名) 林尚孝会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 4 諏訪清陵高校 113 回生入学式 新入生 242 名(女子 104 名) 林尚孝会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.18 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要(地藏寺)
- 4.27 母校の将来に関して意見交換／学校長・同窓会役員(清陵会館)
6. 2 諏訪清陵会理事会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
6. 9 「伊藤長七アーカイブス」記念フォーラム(長野県立歴史館)
- 6.30 定期総会(ホテル紅や) ※記念講演「お金が消える日－くらしを変える魔法のカード－岩本敏男氏」
7. 1 環境整備の一環として自習室(自反室)の改修

10. 5 母校の将来に関して意見交換／学校長・同窓会役員(清陵会館)

◆平成 20 年

- 2.16 諏訪清陵会理事・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 1 母校第 111 回生卒業式 卒業生 241 名(女子 107 名) 茅野實副会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 5 第 30 代校長篠原秀郷(野沢北高校長) 就任
4. 5 諏訪清陵高校 114 回生入学式 新入生 245 名(女子 105 名) 林尚孝会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.17 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要(地藏寺)
- 5.31 諏訪清陵会理事会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.23 高校再編計画に伴う母校の将来に関して意見交換会 学校・PTA・同窓会(清陵会館)
- 6.28 松下勲(59 回生) 同窓会長に就任
- 6.28 定期総会(ホテル紅や) ※記念講演「明日の諏訪を考える－諏訪圏域市町村長」
9. 5 母校の将来に関して現状と意見交換会／学校・PTA・同窓会等の各代表者(清陵会館)
- 11.11 諏訪清陵会の今後に関して 県教委との打合せ／松下勲会長・今井正喜副会長
12. 3 母校の将来に関して意見交換会

街の健康支援拠点

有限会社 大坂屋薬局

問屋 大坂屋常太郎商店

無菌調剤室完備 代表取締役 藤森和良 (91 回生)

諏訪市清水 2-7-22 電話 0266-52-0309 (代) FAX 0266-52-0310

薬局 電話 0266-52-7756 FAX 0266-52-7869

大阪屋薬局 湯の脇 諏訪市大和 3-5-7 電話 0266-53-1440 FAX 0266-53-1422

HOSODA EYE CLINIC

細田眼科医院

院長 細田 源浩 (82 回生)

〒391-0003 長野県茅野市本町西15-32

☎ 0266-71-2727

株式会社 フェリス

MARIAGE Robes de Mariée Salon マリアージュ 長野県諏訪市四賀2218-5

enlace A SCENE OF YOUR LIFE エンレース 長野県諏訪市中洲5709-23

felizcreer La maison du mariage フェリスクレール 長野県塩尻市広丘吉田3133

内科・消化器科・小児科

小松内科クリニック

院長 小松 郁 俊 (69 回生)

諏訪市中洲神宮寺 245-18 TEL. 0266-53-7631

／篠原学校長・古原前学校長・松下会長・今井副会長・武居事務局長(清陵会館)

- 12.18 母校の将来に関して意見交換会
／篠原学校長・古原前学校長・細野諏訪市教育長・松下会長・今井副会長・武居事務局長(清陵会館)

◆平成 21 年

- 2.14 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 1 母校第 112 回生卒業式 卒業生 241 名(女子 107 名) 松下会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
3. 9 新入会員の入会金・終身会費収納についての打合せ会／松下会長・今井副会長・河西監事・武居事務局長(清陵会館)
4. 3 諏訪清陵高校 115 回生入学式 新入生 241 名(女子 99 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.20 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要(地藏寺)
- 5.25 母校の発展を支援する会 松下会長ほか 6 名(清陵会館)
- 5.30 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.27 定期総会(ホテル紅や) ※記念講演「私にとってのファンダメンタルズ」小池康博氏
- 10.19 母校の発展を支援する会 松下会長ほか 5 名(清陵会館)
- 11.18 諏訪清陵会の新公益法人移行に関して相談／県教委・今井副会長(財団常務理事)
12. 5 常任理事会(臨時) 今後の同窓

会活動に関して(清陵会館)

◆平成 22 年

- 1 月中 学校視察／都立武蔵高 県立浜松西高 県立千葉高 府立京都洛北高
- 1.29 母校の将来に関して現状と意見交換会／松下会長ほか 6 名(清陵会館)
- 2.13 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 6 母校第 113 回生卒業式 卒業生 242 名(女子 104 名) 松下会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 6 諏訪清陵高校 116 回生入学式 新入生 242 名(女子 97 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 4.22 財団法人の新制度への移行に関しての打合せ会／松下財団理事長(会長) 他
- 5.29 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.26 定期総会(ホテル紅や) ※シンポジウム「みんなで語ろう第二校歌ー長田光正氏・武居美博氏」
- 7.15 諏訪清陵会への監督官庁より監査／今井財団常務理事(副会長)・石田和枝書記
10. 2 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要・臨時常任幹事会(地藏寺)／中高一貫校に関して
- 12.14 中高一貫校に関わる説明会・懇談会(県教委)

◆平成 23 年

1. 8 臨時常任幹事会(清陵会館)／中

高一貫校に関する県教委への要望書の提出他

- 2.19 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 5 母校第 114 回生卒業式 卒業生 239 名(女子 101 名) 松下会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 5 第 31 代校長佐藤尚登(県教委高校教育課主幹指導主事) 就任
4. 5 諏訪清陵高校 117 回生入学式 新入生 241 名(女子 101 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
4. 5 財団法人長野県諏訪清陵高等学校理科教育振興基金が、公益財団法人諏訪圏学校理科教育振興基金として再出発
- 5.28 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.25 定期総会(ホテル紅や) ※談話会「諏訪力ー世界を変える僕等の原点ー縄文から清陵教育までー」
- 6.27 母校中高一貫校に向けて中学校校舎建設に関する打合せ・要望書の提出他／松下会長他
- 10.29 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要・臨時常任幹事会(地藏寺)／「会員名簿」発刊に関して
12. 2 「会員名簿編集委員会」の発足／松下会長・古原委員長他

◆平成 24 年

- 2.25 諏訪清陵会理事会・評議員会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 3 母校第 115 回生卒業式 卒業生 238 名(女子 100 名) 松下会長祝辞

- 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
- 3.21 (財) 諏訪清陵会「一般財団法人」移行認可(県知事)
- 他 平成 17 年の 110 周年記念事業のひとつ「三澤勝衛先生祈念文庫」の整備と充実を、三澤文庫運営委員会／金子佳正委員長(51 回生) 他 9 名により、資料を再整理し、展示物を復活し、劣化が進んでいる資料については「電子ファイル化」する作業が、今年度で終了し、「三澤文庫連続講座」の開講することになりました。

4. 4 諏訪清陵高校 118 回生入学式 新入生 241 名(女子 92 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
6. 2 (一財) 諏訪清陵会理事会(清陵会館)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.30 定期総会(ホテル紅や) ※講演会・対談「中高一貫教育ー岡山操山と諏訪清陵」國友道一前岡山操山中・高校長、佐倉俊清陵高教頭
10. 6 新艇贈呈式・進水式(清陵艇庫) 「天竜」「富士」
- 10.31 清陵附属中学校校舎実施設計決定説明会(母校応接室) 松下会長・今井副会長・林事務局長
- 11.10 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要・臨時常任幹事会(地藏寺)／120 周年記念事業・中高一貫校他

◆平成 25 年

- 2.23 諏訪清陵会理事会(母校会議室)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 2 母校第 116 回生卒業式 卒業生

- 238 名(女子 97 名) 松下会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 4 諏訪清陵高校 119 回生入学式 新入生 243 名(女子 109 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
- 5.25 (一財) 諏訪清陵会理事会(清陵会館)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
- 6.29 定期総会(ホテル紅や) ※パネルディスカッション「学校知から社会知へ」有賀修二氏・中村雅彦氏・野曾原悦子氏・安川昌昭氏
11. 9 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要・臨時常任幹事会(地藏寺)／120 周年記念事業・附属中学校他

◆平成 26 年

- 2.10 附属中学校名板除幕式(母校玄関) 松下会長・今井副会長
- 2.22 諏訪清陵会理事会(清陵会館)・常任幹事会・幹事会・懇親会(清陵会館)
3. 1 母校第 117 回生卒業式 卒業生 243 名(女子 104 名) 松下会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈
4. 4 第 32 代校長石城正志(高遠高校長) 就任
4. 4 諏訪清陵高校 120 回生入学式 新入生 244 名(女子 111 名) 松下勲会長祝辞 新入生に、ビデオ「清水ヶ丘にうたう」と「校歌 CD」を贈る
4. 5 清陵高校附属中学校開校式・入学式 新入生 80 名(女子 40 名) 松下勲会長祝辞
- 5.31 (一財) 諏訪清陵会理事会(清陵会館)・常任幹事会・幹事会・懇親

- 会(清陵会館)
- 6.28 矢崎和広(68 回生) 同窓会長に就任
- 6.28 定期総会(ホテル紅や) ※パネルディスカッション「今、私達の生命に起こっていることー医療の現場・脳科学の研究室・食の市場からー」北條史彦氏・篠原菊紀氏・大島一二氏
- 9.27 「黎明」像クリーニング
11. 8 物故会員並びに道志社先輩慰霊法要・臨時常任幹事会(地藏寺)／120 周年記念事業他

◆平成 27 年

- 2.20 清陵会館 2 階和室／50 畳入換 1・2 階／暖房器入換
- 2.21 諏訪清陵会理事会(清陵会館)・幹事会(常任)・懇親会(清陵会館)／120 周年記念事業他
3. 7 母校第 118 回生卒業式 卒業生 238 名(女子 91 名) 矢崎会長祝辞 卒業生に、「印鑑セット」贈呈

諏訪清陵高校 OB・OG 諏訪湖一周マラソンのご案内

恒例の諏訪湖マラソンは、例年のとおり母校の伝統行事に加えてもらい OB・OG 大会を同時開催いたします。多数の皆さんの参加と応援を期待しご案内いたします。

1. 日 時 10 月 27 日(火)
女子 8:40、男子 9:00 スタート
2. コース スタート・ゴール 湖畔石彫公園 約 19.4km
3. 受 付 湖畔石彫公園スタート地点
午前 8 時よりゼッケン受け取り後スタート地点へ。終了後懇親会(片倉館)
4. 参加費 マラソンのみ 2,000 円
懇親会まで 3,000 円
5. その他 健康診断もお忘れなく。雨天の場合は受付時に判断。
- ※時間は予定です。変更となることがあります。

諏訪湖マラソン OB 会
会長 牛山 孝(59 回) 会計 唐沢千明(76 回)
問合せ先 原 英充(65 回) 電話 0266-58-3547

医療法人 清風会

宮坂医院

院長 宮坂圭一

宮坂洋輔(105 回生)
埼玉医科大学病院勤務

〒392-0006 諏訪市元町 4-10
Tel 0266-52-1711



生活応援
みんなの暮らしをバックアップ!

お葬儀・仏壇・墓石・レストラン・料亭・ケーキリング
生活雑貨・ギフト・ご婚礼・りんごの会

代表取締役社長 太田 博久 (86 回生)



生活応援企業
太田屋

松本・岡谷・諏訪・長野・上田・佐久・伊那
本社/諏訪市中洲 5723-3 (諏訪ふれあい広場)
Tel: 0266-54-3555 Fax: 0266-54-3553
【本館】http://www.ohtaya.co.jp/

御柱祭に

- ・仲間同士でオリジナル木札
- ・ハッピーに似合う“名入れ楡杓”ストラップ
(団体名・曳航柱名も入れられます。)
- ・太鼓バチ 刻印

大会 / 展示会に：横断幕・ポスター出力承ります。
(エクセル・ワード・パワーポイントからでも OK)

レーザー彫刻 & 大判プリント 小柄洞 和善 (82 回生)
★ You-its kotochibora
下諏訪町 080-1047-7155
you-its@po17.lcv.ne.jp

Citysoft

有限会社シティーソフト

本社 〒392-0012 諏訪市四賀 1274-1
TEL 0266-54-0234 FAX 0266-54-0233
八王子オフィス 〒192-0033 八王子市高倉町 58-3 108
TEL 042-657-6926
代表取締役 藤森一正 (82 回生)
藤森 薫 (82 回生)
村田貞敏 (84 回生) 山崎 稔 (106 回生)

高い学力・広い視野・強い意志 ～諏訪清陵高等学校附属中学校開校初年度の報告～

副校長 佐倉 俊



1 附属中学校開校

平成 26 年 4 月 5 日、松下同窓会長様、矢崎理振理事長様（現同窓会長）をはじめとする本校をお支えいただいている多くの皆様のご臨席を賜り、諏訪清陵高等学校附属中学校の開校式並びに一期生の入学式を無事執り行うことができました。伊藤教育長により開校が宣言された開校式に引き続き行われた入学式では、次の言葉が新入生代表宣誓の中で語られました。

「宣誓 わたしたち 80 名は、長野県諏訪清陵高等学校附属中学校第一期生としてここに集い、学べることに感謝し、目指す生徒像『高い学力』『広い視野』『強い意志』のもと、思いを同じくする仲間とともに、将来の夢をかなえるべく、日々精進することを誓います。」

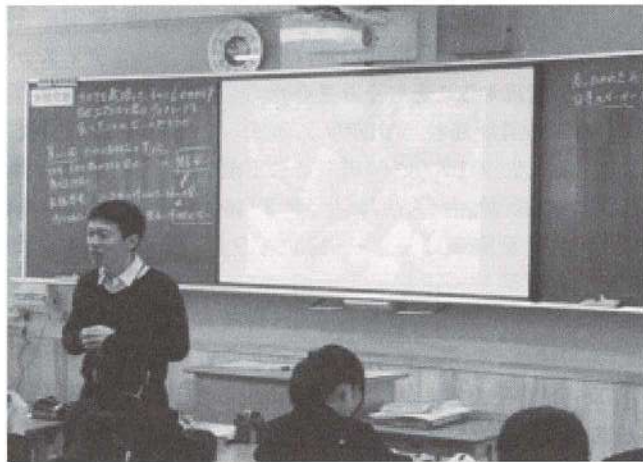
現在、私たち職員も、この生徒たちの想い、またお支えいただいている保護者の皆様、同窓会の皆様、地域の皆様のご期待に応えることができるよう、気持ちを引き締め日々努力しているところでございます。ここでは、その一端を一期生の様子とあわせて報告させていただきます。



開校式・入学式 4 月 5 日

2 じっくり学び、深く考える

本校では、『授業が第一！』を合言葉に、小学校の 45 分授業より 20 分長い、高校と同じ 65 分授業に取り組んでいます。この 65 分授業を活用し教えるべきことは徹底的に教え、考えさせるべきことはじっくり考えさせる授業を行うおうと、日々授業づくりに取り組んでいるところです。この深く考える授業を行う際に、大変有効に活用させていただいているのが、同窓会の皆様よりご寄贈いただいた電子黒板機能付きプロジェクトです。授業者は電子黒板機能付



電子黒板を使った授業

きプロジェクトを使って生徒が興味・関心をもてるよう資料提示をしたり、生徒に考え方を説明させたりしています。

《生徒の声》

清陵中では、「自ら考え、すすんで取り組む授業」を行っています。例えば、社会では様々な資料やプロジェクトを活用し、TPP など深い内容も扱い討論しています。理科では、中高一貫のよさを生かして高校で使われている高機能の顕微鏡を活用し詳しい実験を行っています。もちろん、他の数学・英語・国語も同様に、独自の方法を取り入れて活発な意見交換をしています。

先生方にうかがったところ、多くの先生方が「自分からチャレンジする」ことや、「失敗しても思ったことをしっかり伝える」など、一人一人の考えをとて大切に授業にしていると話してくださいました。模擬試験や土曜日に自分で教科を選択して授業をする「サタデイ・スパイラル・セミナー」などの特別な活動もありますが、それ以上に「一人一人が自ら進んで考えられる活発な授業」こそが魅力だと私は思います。（茅野市出身 ソさん）

3 本物に触れ、本質を学ぶ

一期生の総合的な学習の時間では、キャリア教育を中心に据え、『本物に触れ、本質を学ぶ』ことを大切に、原田泰治様や清陵出身の蝶の研究家 原雅幸先生、映画・CM カメラマン 宮坂健二様、諏訪で活躍する経営者の皆様な



ハケ岳農林体験学習

どをお招きして生き方を学ぶ機会をもちました。このように親でもなく学校の教員でもない大人の方から直にお話をお聞きすることが、生徒にとって非常に価値のあるものになると考えています。さらに、校外学習の場でも『本物に触れる』ことを重視し、ハケ岳中央農業実践大学校において実際に汗を流して働くことを通して、働くことの意義や目的を考える機会を設けました。中高 6 年間を通して、このような体験を通じてじっくりと自分の生き方について考えることを大切にしていきたいと考えています。

《生徒の声》

5 月 15 日、原田泰治さんが来校されました。原田さんは諏訪市出身の画家で、誰の心にも存在する故郷の絵を描き続けています。原田さんは小さい頃、小見マヒにかかり、両足が不自由になってしまいました。しかし原田さんはそのことを恨まず、むしろ「自分は足が不自由だったからこそ、鳥の目、虫の目をもらい、今、絵を描いている。」とプラスに考えています。原田さんの今までの苦勞をお聞きし、自分の悩みの小ささに気づき、自分と向き合い、前を向いていこうと思いました。まるで原田さんが背中を押してくれたようでした。

先日は、清陵 OB の映画カメラマンの宮坂さんや電子顕微鏡を寄贈してくださった原さんが来校されました。このように様々な人の人生からアドバイスを受けることは私たちにとって生きる道標になるので、これからもたくさんの方との出会いを大切にしていきたいです。

（諏訪市出身 Sさん）

4 より広く、豊かに交わる

中高一貫の魅力の一つは、12 歳から 18 歳までの幅広い年齢集団の交流にあると思います。附属中学校の文化系部活動は、中高合同部活を基本としていますが、高校生がとても優しく丁寧に中学生を指導してくれています。その姿は、先輩というよりは、先生、まさにミニティチャーという姿で、安心して指導を任せることができます。

その他、学友会活動は別組織にしていますが、図書委員会など当番活動と一緒にいたりするなど、連携して合同活動を行っています。また、学友会行事である清陵祭は中高合同で開催し、中学生も学年合唱を高校生の前で披露したり、文化系部活の生徒たちは高校生と同じステージに立ったりと活躍しました。また、秋には高校生より少し短い、諏訪湖 1 周 16 キロを走る湖周マラソンを、高校生に支えてもらいながら行いました。このように部活動や学友会活動をはじめ、日常生活を高校生と共に過ごすことを通して、中学生は高校生から多くの刺激を受け学んでいます。

《生徒の声》

中高一貫校となった清陵高校。中高一貫の魅力は、6 年間の見通しが立つというところにあると思います。高校と隣接した中学校校舎では、高校生の姿がよく見えます。レベルの高い授業、課外活動での高い技術や、部活動と学業を両立する工夫など、手本となる姿が身近に見られます。仲間にインタビューしてみると、「具体的な目標が定まる。」と語ります。高校生活を見ることができるため、高校への不安もうすれます。3 年後ではなく、6 年後、またその先を早くから考えられます。夢をかなえたいと思うなら、この学校はとてもよい環境だと思います。

（松本市出身 U 君）



高校生の指導のもと

5 終わりに

以上が、附属中学校開校初年度の概況になりますが、このように順調なスタートを切ることができたのは、同窓会の皆様をはじめとする本校をお支えいただいている多くの皆様のご理解とご支援のおかげと、改めまして深く感謝申し上げます。

矢崎同窓会長様は、地域社会に必要なのは「いい会社、いい病院、いい学校」と常に述べられています。本校を支えていただいている多くの方々の想いを胸に、諏訪清陵中高一貫が地域の「いい学校」を担えるよう、職員一同、謙虚に物事に当たり全力を尽くして参る所存です。一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成 27 年度同窓会報「学校だより」

平成 26 年 4 月 4 日に高等学校の入学式が行われました。243 名(男子 133 名、女子 110 名)の新入生を迎え、全校生徒 728 名(男子 415 名、女子 313 名)で平成 26 年度がスタートしました。また、翌 4 月 5 日には附属中学校の開校式及び入学式が行われました。80 名(男子 40 名、女子 40 名)の第一期生を迎え、諏訪清陵の新たな歴史がスタートしました。生徒たちは勉強、クラブ活動、学友会活動等に精一杯取り組み、様々な面で成長がみられました。そんな生徒たちの活躍を中心に、この 1 年間の学校の様子をお知らせします。(以下、敬称略)

高等学校運動系クラブ

全国高校総体(インターハイ)には、窪田章吾(陸上)、小池陽介・花原毅(ソフトテニス)、高橋沙恵・落合ゆき・青木紗耶・荻須一郎・入江克哉・小林優斗・名取公甫・小川晃寛(ボート)、徳永紗希(スケート)が出場し、高橋沙恵(ボート)は、女子シングルスカルで 3 位に入賞しました。

■野球部の成績

全国高等学校野球選手権長野大会ベスト 16

春季北信越地区高校野球長野県大会ベスト 16

秋季北信越地区高校野球長野県大会ベスト 16

■長野県高等学校総合体育大会の主な成績

<陸上部>

●窪田章吾(3 年):走幅跳＝2 位・三段跳＝2 位、男子 4×100m リレー＝4 位、4×400m リレー＝8 位 ●両角茜音(2 年):棒高跳＝4 位

<ソフトテニス部>

●小池陽介(3 年)・花原毅(3 年)組＝4 位→全国大会へ

<剣道部>

●小口慎司(3 年)＝個人ベスト 8→北信越大会へ

<水泳部>

●松澤亘希(2 年):男子自由形 50m＝4 位 ●橋原愛夏(2 年):バタフライ 100m＝8 位、同 200m＝4 位

<スケート部>

●徳永紗希(1 年):3000m＝8 位→全国大会へ

<端艇部>

●伊東壮十郎(3 年):シングルスカル＝2 位 ●名取徳高(2 年):シングルスカル＝3 位 ●千田司(3 年)・塩原慶己(3 年):男子ダブルスカル＝2 位 ●諏訪清陵 A:男子クオドルブル＝1 位(荻須一郎・入江克哉・小林優斗・名取公甫・小川晃寛) ●高橋沙恵(3 年):シングルスカル＝1 位 ●落合ゆき(2 年)・青木紗耶(2 年):女子ダブルスカル＝1 位 ※各種目 1 位は全国大会へ

■ブロック大会・全国大会等の成績

<陸上部>

●北信越大会:窪田章吾:三段跳＝4 位→全国大会へ ●全国大会:窪田章吾:三段跳＝決勝 11 位

<ソフトテニス部>

●北信越大会:小池陽介・花原毅組＝ベスト 16 ●全国大会:小池陽介・花原毅組＝1 回戦

<剣道部>

●北信越大会:小口慎司＝2 回戦

<水泳部>

●北信越大会:松澤亘希・橋原愛夏＝出場

<端艇部>

●北信越大会:高橋沙恵:女子シングルスカル＝決勝 2 位 ●全国大会:高橋沙恵:シングルスカル＝決勝 3 位 男子クオドルブル、女子ダブルスカル:準々決勝進出

■長野県高等学校新人体育大会の主な成績

<陸上部>

●巻潤優也(2 年):100m＝4 位 ●小池大勝(2 年):走幅跳＝8 位 ●梅垣琴音(2 年):400m＝7 位 ●中村日葉子(2 年):100mH＝8 位 ●両角茜音(2 年):走高跳＝8 位 ●女子 4×400m リレー＝6 位

<ハンドボール部>

●男子＝3 位

<水泳部>

●松澤亘希:男子自由形 50m＝4 位、同 100m＝3 位 ●橋原愛夏:バタフライ 50m＝7 位、同 100m＝3 位

<スケート部>

徳永紗希:3000m＝5 位

<端艇部>

●名取徳高:男子シングルスカル＝2 位 ●小坂亮太・堀川夏生:男子ダブルスカル＝1 位 ●林賢之介・飯田寛希:男子ダブルスカル＝2 位 ●諏訪清陵 A:男子クオドルブル＝1 位(岡本・入江・下島・大塚・伊藤) ●落合ゆき:女子シングルスカル＝1 位 ●今井陽香・青木:女子ダブルスカル＝2 位 ●諏訪清陵:女子クオドルブル＝2 位(吉池・大槻・佐藤・進藤・小川) 各種目 1・2 位は中部高校選抜大会へ

■選抜大会等の成績

<端艇部>中部高校選抜大会

●落合ゆき:女子シングルスカル＝4 位→全国選抜へ ●小坂・堀川:

男子ダブルスカル＝6 位→全国選抜へ ●男子クオドルブル＝2 位→全国選抜へ

高等学校文化系クラブ

古典ギター部がギター・マンドリンフェスティバルで 27 年度の全国大会への出場を決め、書道部(2 年ぶり)、美術部が全国高等学校総合文化祭(いばらき総文 2014)に出場しました。また、長野県高等学校総合文化祭文芸コンクール散文部門で、河西悠の「声」が最優秀賞に選ばれました。そして、クイズ研究会の小野俊・由井恭輔が「エコノミクス甲子園」長野県大会で優勝して全国大会に出場し、全国大会では 8 位に入賞しました。

<古典ギター部>

●全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール＝努力賞 ●長野県高等学校ギター・マンドリンフェスティバル＝優秀賞→27 年度全国大会への出場決定

<書道部>

●全国高等学校総合文化祭に県代表として出場＝高文連賞 ●全日本高等学校書道コンクール ●小川果歩(2 年):「鄭長猷造像記」＝準部門賞 ●味澤紀歩(1 年):「祭姫稿」＝準部門賞 ●団体:優良校県展 ●味澤梨香(2 年)、味澤紀歩＝金賞 信州書道展 ●味澤紀歩＝県知事賞 市民新聞書き初めコンクール ●大賞(4 名):小川果歩、味澤梨香、味澤紀歩、今井美樹

<美術部>

全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門＝参加

<吹奏楽部>

長野県アンサンブルコンテスト高等学校部門県大会

●打楽器 4 重奏＝銀賞

※中山かなえ・岩波春香・藤森亜里沙・三沢悠

●サクソフォン 4 重奏＝銀賞

※佐藤武輝・賛田彩香・清水結花・宮下卓也

●金管 8 重奏＝銀賞

●塩原雪菜・溝口愛美・今井和・高木葵・浅井そよ香・小泉綾香・津金美優・濱喜和子

<かるた部>

全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

●湯澤佐都子(2 年)＝D 級 3 位

全日本かるた協会主催のかるた競技大会(各地で開催)に参加し、D 級で多くの生徒が入賞しています。

<文学部>

長野県高等学校総合文化祭文芸コンクール散文部門

●河西悠(1 年)の「声」＝最優秀賞

<フォークソング部>

Power Live2014K(長野県高等学校文化連盟軽音楽専門部主催の合同演奏会県大会):バンド名「Merci」＝ベスト 8

<クイズ研究会>

全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」 ●長野県大会＝優勝→全国大会へ ●全国大会＝総合 8 位入賞 ※小野俊(2 年)・由井恭輔(2 年)

附属中学校部活動

<書道部>

●服部ほの花:県展＝銅賞

●服部ほの花:市民新聞書き初めコンクール＝大賞 高校生と一緒に書道パフォーマンスイベントに参加

<科学部>

●第 2 回科学の甲子園ジュニア長野県大会＝優勝

●第 2 回科学の甲子園ジュニア全国大会

総合＝9 位、実技競技 2＝2 位

<陸上部>

長野県中学校総合体育大会夏季大会

●中澤新:男子 1 年 100m＝12" 81 ●演若菜:女子 1 年走幅跳＝4m02

<水泳>

●県中総体水泳競技大会出場＝船津和美

学友会行事

対面式(4/8)、新入生歓迎会(4/11)、歓迎乗艇(4/14～23)、クラスマッチ(5/2)、そして学友会の最大行事である清陵祭(7/4～6)が行われ、その後 2 年生への引継ぎを経て、端艇大会(9/1)、クラスマッチ(9/26)、湖周マラソン(10/24)等の各行事が行われました。

第 64 回清陵祭は、7 月 4 日(金)から 6 日(日)までの日程で行われました。1 日目は、合唱コンクール、東北研修報告、談論会等が行われました。2 日目・3 日目は一般公開でしたが、2 日目午後には予定されていた運動会は、午前の雨のため体育館でドッジボールとなりました。3 日目のファイアーストームは、寒い中でしたが、ここは若い力で寒さを吹き飛ばし、最高の盛り上がりを見せました。

平成 27 年度(2015 年度)入試結果(平成 27 年 4 月現在)

卒業生数:238 進学者数:184 就職者数:0 進学率:77.3%

国立大学	現役生	過卒生	合計	成城	1	1
北見工業	1		1	専修	4	2
北海道	2	2	4	大東文化	4	2
北海道教育		1	1	中央	16	1
東北		1	1	帝京	6	6
山形	1		1	東海	3	3
茨城	1		1	東京医科	5	1
筑波	1		1	東京家政	2	1
宇都宮	1		1	東京経済	5	1
群馬	3	1	4	東京工科	1	5
埼玉	1		1	東京歯科	1	1
千葉	3		3	東京女子	5	1
お茶の水女子	1		1	東京造形	1	1
東京	1		1	東京電機	4	3
東京学芸	5		5	東京農業	2	3
東京海洋	1		1	東京薬科	1	1
東京工業	1		1	東京農工	6	2
横浜国立	3		3	東邦		3
新潟	3	3	6	東洋	7	5
上越教育		1	1	二松学舎	1	1
富山	3	2	5	日本	26	1
金沢	1		1	日本歯科		1
福井		1	1	日本社会事業	4	4
山梨	2	1	3	日本獣医生命科	1	1
信州	23	6	29	日本女子	1	1
静岡	4		4	日本体育	1	1
名古屋	4	2	6	法政	14	5
名古屋工業	2	1	3	星薬科		1
滋賀	1		1	武蔵野美術	1	1
大阪	1		1	武蔵野	2	1
奈良女子	1		1	明治	14	2
広島	2		2	明治学院	4	1
長崎		1	1	明治薬科	1	1
鹿屋体育	1		1	明星	2	1
合計	74	23	97	立教	7	1

公立大学	現役生	過卒生	合計	神奈川工科	1	1	1
宮城	1		1	神奈川	2		1
秋田県立	1		1	関東学院		1	3
茨城県立医療	1		1	洗足学園音楽	1		1
高崎経済	1		1	桐蔭横浜	1		1
前橋工科	1		1	横浜薬科	2		2
埼玉県立	1		1	新潟医療福祉		1	1
首都大学東京	5	1	6	新潟薬科		1	1
横浜国立	1		1	金沢工業	1		1
新潟県立看護	1		1	金沢学院	1		1
新潟県立		1	1	帝京科学	1		1
都留文科	1		1	山梨学院		1	1
山梨県立		1	1	佐久	2		2
長野県看護		1	1	松本			1
岐阜薬科	1		1	岐阜女子	1		1
静岡県立	1		1	岐阜聖徳学園	3	2	5
岡山県立	1		1	岐阜医療科学	1		1
合計	17	4	21	常葉	1		1

私立大学	現役生	過卒生	合計	日本赤十字豊田	2	2
酪農学園	1		1	愛知学院	1	3
流通経済	2		2	愛知工業	1	1
つくば国際	1		1	中京	3	3
国際医療福祉	1	3	4	中部		1
群馬バース	1		1	藤田保健衛生		3
上武	2		2	南山	1	1
東京福祉	1		1	日本福祉	1	1
埼玉医科	1		1	名城	1	3
城西		1	1	長浜バイオ	1	1
獨協	1		1	京都光華女子	3	3
文教	1	4	5	京都橘	2	2
文京学院	1		1	同志社	5	5
目白	1		1	同志社女子	3	3
十文字学園女子	1		1	立命館	13	9
聖徳	2		2	大阪薬科	1	1
千葉工業	2		2	近畿		1
青山学院	2	2	4	武庫川女子	1	1
大妻女子	5	2	7	関西国際		3
北里	1		1	奈良	1	1
共立女子	1	1	2	岡山理科	1	1
杏林	7		7	合計	278	94
工学院	1		1		372	
國學院	1		1			
国士館	2		2			
駒澤	2	1	3			
白百合女子	1		1			
実践女子	1		1			
芝浦工業	8	1	9			
上智	2	1	3			
昭和	5		5			
女子栄養	1		1			
成蹊	1		1			

国公立短大	現役生	過卒生	合計
長野県短大		1	1
合計		1	1

その他	現役生	過卒生	合計
防衛大学校	1		1
防衛医科大学校		1	1
松本歯科大学衛生学院	1		1
山梨学院大学衛生学院	1		1
近畿大学看護専門学校		1	1
LASC American Language and Culture	1		1
合計	4	2	6

平成 26 年度 諏訪清陵高校同窓会 会務報告

4. 4 諏訪清陵高等学校 120 回生入学式
新入生 244 名（女子 111 名） 松下勲会長祝辞
新入生に「校歌」CD と「清水ヶ丘にうたう」DVD
を贈る
4. 5 諏訪清陵高等学校附属中学校 開校式・入学式
新入生 80 名 松下勲会長祝辞
4. 18 着任教職員歓迎会（ぬのはん）
新任職員 21 名 松下勲会長、今井正喜副会長、林隆
憲事務局長
4. 19 下諏訪支部総会（ぎん月）
松下勲会長、石城正志校長、佐倉俊副校長
4. 26 上伊那支部総会（辰野パークホテル）
松下勲会長、石城正志校長
4. 30 会計監査
河西節郎監事、鮎沢茂登監事
一般財団法人諏訪清陵会
諏訪清陵同窓会
同窓会報 40 号発行（81 回生）
5. 31 一般財団法人諏訪清陵会 理事・評議員合同会議
諏訪清陵同窓会常任幹事会・幹事会・懇親会
常任幹事、支部幹事、学年幹事
6. 28 諏訪清陵同窓会定期総会（ホテル紅や）
平成 25 年度事業報告・決算報告
平成 26 年度事業計画・収支予算
母校創立 120 周年記念事業について
清陵附属中学校等について
役員改選について
パネルディスカッション「今、私達の生命に起こって
いること」
北條史彦、篠原菊紀、大島一二（82 回生）
懇親会
6. 28 矢崎和広（68 回生）同窓会長に就任
7. 2 同窓会役員引継会
会長・事務局引継
8. 9 東海支部総会（ニューキャッスルホテル）
矢崎和広会長、石城正志校長
8. 17 81・82 回生引継会（山本や）
矢崎和広会長、矢澤博事務局長
81 回生、82 回生
9. 27 黎明像クリーニング
武蔵野美大
八ヶ岳美術館
清陵美術部
- 同窓会
10. 17 東京支部総会（アルカディア市ヶ谷）
矢崎和広会長、石城正志校長
10. 24 母校湖周マラソン（うしまさ坂支援）
OB 参加 15 名
11. 8 物故者慰霊法要（地藏寺）
臨時常任幹事会
11. 14 諏訪支部総会（シティホテル成田や）
矢崎和広会長、石城正志校長
11. 19 創立 120 周年記念式典準備委員会
学校・PTA・同窓会 三者協議
11. 22 原支部総会（縦の木荘）
矢崎和広会長、石城正志校長
11. 28 北信支部総会（ホテル国際 21）
今井正喜会長補佐、石城正志校長
12. 28 当番幹事学年 82 回生打合せ
矢崎和広会長、矢澤博事務局長、82 回生
2. 7 茅野支部総会（マリオローヤル会館）
矢崎和広会長、石城正志校長、佐倉俊副校長、矢澤博
事務局長、
2. 10 天野浩名大教授打合せ
（120 周年記念講演会講師）
名古屋大学 矢崎和広会長、守屋郁男教頭
2. 14 当番幹事学年 82 回生打合せ
矢崎和広会長、矢澤博事務局長、82 回生
2. 20 岡谷支部総会（ホテル岡谷）
矢崎和広会長、守屋郁男教頭
2. 21 一般財団法人諏訪清陵会
平成 27 年度事業計画・収支予算
諏訪清陵同窓会常任幹事会・幹事会・懇親会
常任幹事、支部幹事、学年幹事
平成 27 年度事業計画・収支予算
120 周年記念事業 他
2. 22 富士見支部総会（大奥）
矢崎和広会長、石城校長
3. 1 関西支部総会（大阪第一ホテル）
矢崎和広会長、石城校長
3. 7 諏訪清陵高校 118 回生卒業式
卒業生 238 名（女子 91 名）
矢崎和広会長、山崎晃副会長
卒業記念品贈呈
3. 24 転退職職員送別会（ホテル浜の湯）
矢崎和広会長、矢澤博事務局長

平成 27 年度 諏訪清陵高校同窓会 事業計画書（案）

（平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで）

1. 母校創立 120 周年記念事業
(1) 記念式典・祝賀会 10 月 24 日（土） 午後
式 典：清陵高校体育館
祝賀会：ホテル紅や
- (2) 記念講演会 10 月 24 日（土） 午後
会 場：清陵高校体育館
講 師：名古屋大学大学院工学研究科教授
天野浩氏（2014 年ノーベル物理学賞）
- (3) 同窓会員名簿発行
発行数：3,100 部 価 格：5,000 円
- (4) 母校記録ビデオ制作
母校年間行事記録
学校案内ビデオ制作（高校用・中学用）
- (5) 記念誌発行
母校 120 年史（母校校史記録）
- (6) 教育設備寄贈（第 3 年次）
附属中学教室プロジェクター他
清陵会館暖房機、畳替
2. 同窓会定例事業
[会員交流事業]
(1) 平成 27 年度定期総会開催 6 月 27 日（土） ホテル紅や
(2) 清陵同窓会報発行 第 41 号 編集担当 82 回生
(3) 各支部活動促進
(4) 先輩・物故会員慰霊法要 11 月 14 日（土） 地藏寺
(5) （一財）諏訪清陵会運営支援 運営費寄付・役員就任
- [母校教育助成事業]
(1) 母校クラブ活動助成
クラブ活動同窓会後援会 募金 第 4 期：平成 24 ～ 28 年
募金活動強化
母校クラブ活動後援会 同窓会・PTA・学友会から提出
(2) 新入生・卒業生 記念品贈呈

平成 26 年度同窓会一般会計決算書（案）

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

収 入 総 額	10,102,755 円
支 出 総 額	9,993,964 円
次年度繰越額	108,791 円

Ⅰ 収入の部 (単位：円)				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
前年度繰越金	417,000	417,241	241	
入 会 金	1,205,000	1,220,000	15,000	244 名× 5,000
終 身 会 費	4,820,000	4,880,000	60,000	244 名× 20,000
寄 附 金				
受 取 利 息	1,000	1,538	538	
物 品 販 売	15,000	4,000	△ 11,000	
雑 収 入	5,000	7,160	2,160	
基本財産取崩	4,300,000	3,572,816	△ 727,184	
収 入 合 計	10,763,000	10,102,755	△ 660,245	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
土曜講座助成	2,300,000	650,000	1,650,000	土曜講座自反会助成
SSH 事業助成	300,000	0	300,000	SSH アラスカ研修補助
その他助成	870,000	1,111,189	△ 241,189	卒業記念、全国大会他
(一財)諏訪清陵会寄付	500,000	500,000	0	清陵会寄附金
定期総会費	350,000	303,524	46,476	定期総会関係
支部活動奨励金	500,000	450,000	50,000	各支部活動奨励
その他事業	220,000	20,000	200,000	湖周マラソン
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	会報特別会計
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	会館維持会計
母校助成基金繰出金	1,500,000	1,500,000	0	母校助成基金積立
120 周年事業会計繰出金		1,000,000	△ 1,000,000	120 周年記念事業
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	200,000	265,803	△ 65,803	役員会幹事会他
旅 費	500,000	706,680	△ 206,680	各支部参加旅費
事務所費	1,020,000	1,035,768	△ 15,768	通信費、消耗品、新聞代他
租税公課		1,000	△ 1,000	収入印紙
予備費	53,000	0	53,000	
支 出 合 計	10,710,000	9,993,964	716,036	

平成 26 年度 諏訪清陵高校同窓会基本財産目録

基本財産 30,005,978 円（平成 27 年 3 月 31 日 現在）
（内訳）定期預金 諏訪信用金庫 20,003,985 円
同 八十二銀行 10,001,993 円

平成 26 年度 同窓会報 特別会計決算報告（案）

（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

収入額	3,865,872 円（繰越金 一般会計より繰入金 広告収入等）
支出額	2,874,833 円（会報 40 号編集印刷費送料等）
差引残額	991,039 円（平成 27 年度へ繰越）

平成 26 年度 清陵会館維持 特別会計決算報告（案）

（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

収入額	1,069,021 円（繰越金 繰入金 利息）
支出額	0 円（ ）
差引残額	1,069,021 円（平成 27 年度へ繰越）

平成 27 年度同窓会一般会計予算書（案）

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

収 入 総 額	10,813,000 円
支 出 総 額	10,813,000 円
次年度繰越額	0 円

Ⅰ 収入の部 (単位：円)				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	267,000	417,000	△ 150,000	26 年度繰越
入 会 金	1,205,000	1,205,000	0	241 名
終 身 会 費	4,820,000	4,820,000	0	241 名
寄 附 金				
受 取 利 息	1,000	1,000	0	
物 品 販 売	15,000	15,000	0	
雑 収 入	5,000	5,000	0	
基本財産取崩	4,500,000	4,300,000	200,000	
収 入 合 計	10,813,000	10,763,000	50,000	

Ⅱ 支出の部				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
土曜講座助成	0	2,300,000	△ 2,300,000	(一財) 諏訪清陵会へ移管
S S H 事業助	0	300,000	△ 300,000	(一財) 諏訪清陵会へ移管
その他助成	870,000	870,000	0	卒業生記念品代、大会出場奨励金
(一財)諏訪清陵会寄付	1,500,000	500,000	1,000,000	財団運営、今井重雄遺志金
定期総会費	500,000	350,000	150,000	運営費、資料印刷費、広告代他
支部活動奨励金	500,000	500,000	0	(旧) 支部総会祝儀
その他事業	20,000	220,000	△ 200,000	湖周マラソン助成他
会報会計繰出金	1,800,000	1,800,000	0	同窓会報発行
会館維持会計繰出金	50,000	50,000	0	清陵会館補修・設備更新
名簿会計繰出金	0	0	0	平成 25 年 1,000 万円繰出済
120 周年記念事業会計繰出金	1,500,000	0	1,500,000	記念講演会、ビデオ制作他
母校助成基金繰出金	1,500,000	1,500,000	0	(一財) 諏訪清陵会寄付減額分積立
給料手当	600,000	600,000	0	事務局長給与
会議費	300,000	200,000	100,000	役員会旅費、幹事会他
旅 費	500,000	500,000	0	役員会旅費、事務局長交通費
事務所費	800,000	1,020,000	△ 220,000	消耗品、通信、備品、慶弔、業務委託、租税
予備費	373,000	53,000	320,000	
支 出 合 計	10,813,000	10,763,000	50,000	

平成 26 年度 名簿 特別会計決算報告（案）

（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

収入額	5,104,985 円（繰入金 利息）
支出額	1,063,984 円（名簿管理業務委託費 通信費他）
差引残額	4,041,001 円（平成 27 年度へ繰越）

平成 26 年度 120 周年記念事業（案）

（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）

収入額	1,000,000 円（繰越金 繰入金 利息）
支出額	1,000,000 円（ビデオ制作諸費）
差引残額	0 円（平成 27 年度へ繰越）

地区支部だより

	関西支部	東海支部	東京支部	松本支部	上伊那支部	北信支部
支部役員	支部長：小坂祥造 (63 回) 副支部長：今井文人 (52 回)、小林悟郎 (56 回)、今井稔子 (58 回)、山田正幸 (59 回) 監事：松本本興 (61 回) 相談役：河西計介 (42 回) 上島武 (57 回) 顧問：吉澤啓介 (57 回) 事務局長：花岡正 (69 回)、神戸正幸 (66 回) 幹事代表：小坂辰徳 (59 回) 幹事：小松文吉 (56 回) 三溝善一 (56 回)、花岡英明 (57 回)、岡田敏史 (63 回)、竹中由幸 (63 回)、土橋勝 (64 回)、鈴木勝 (64 回)、神戸正幸 (66 回)、津金正典 (69 回)、藤森廣幸 (70 回)、植松高志 (72 回)、名取和一 (75 回)	支部長：太田龍朗 (61 回) 副支部長：下枝晴彦 (61 回)、佐々木忠男 (64 回) 幹事：浜一吉 (65 回)、小口眞紀雄 (69 回)、今井啓雄 (89 回)、 会計監査：今井安栄 (67 回) 事務局長：小林良章 (75 回) 事務局次長：演隆二 (73 回)、矢澤弘司 (81 回)	支部長：藤森宏一 (63 回) 副支部長：長田宏子 (62 回) 金子充彦 (65 回) 幹事：浜一吉 (67 回) 副支部長兼事務局長：平林千義 (67 回) 会計幹事：有賀朝彦 (63 回) 監査幹事：今井恒夫 (57 回) 小海健治 (84 回) 事務局次長：小林国利 (62 回) 林健康 (72 回) 閑屋孝行 (76 回) 後調正則 (76 回) 北原誠 (82 回) 赤羽俊昭 (84 回)	支部長：(死去空席) 常任幹事：山田巻義 (64 回) 幹事：藤森邦秀 (65 回) 監事：赤羽英勝 (60 回)	支部長：大森尚人 (68 回) 副支部長：伊藤隆一 (58 回) 幹事長：赤羽博 (78 回) 事務局：加藤恒男 (86 回) 会計幹事：武居保男 (80 回) 幹事：長谷川茂夫 (60 回) 林靖 (62 回) 加島範久 (70 回) 根橋義太郎 (71 回) 川島弘 (73 回) 寺島則子 (79 回) 福島正寿 (80 回) 橋本実樹 (83 回) 中村海基 (92 回) 古村慎二 (92 回)	支部長：高見沢忠明 (61 回) 副支部長：岩本弘 (65 回)、有賀良夫 (68 回)、花岡佳市 (71 回)、中村博 (72 回) 幹事：藤森秀彦 (85 回)
事務局連絡先	〒 562-0025 大阪府箕面市栗生外院 1-17-1-1311 TEL：072-727-3616 Email：hanaoka1311@hera.eonet.ne.jp	〒 452-0946 愛知県清須市廻間 2-2-17 小林方 TEL：090-9912-3428	文京区本郷 1-10-14 加奈利屋館 7 階 TEL：03-3812-5887 FAX：03-3812-5887	松本市里山辺 1653-15 山田巻義方 TEL：090-7403-7641 FAX：0263-34-6910	〒 399-0425 上伊那郡辰野町樋口 2219 TEL：090-2152-2892 FAX：0266-43-2822 Email：flat-director@honey.ocn.ne.jp	長野市安茂里 701-1 セジュール中道 203 号 TEL：026-228-1622 Email：hidefujii@shinmai.co.jp
直近の支部総会	平成 27 年 3 月 1 日 場所：大阪第一ホテル、 出席者：44 名 講演：「日本の食・その課題と展望」 講師：大島一二教授 (81 回) (桃山学院大 経済学部) 総会：来賓挨拶 (矢崎同窓会長、石城校長挨拶) 審議事項：H26 活動報告、会計報告、H27 活動計画、役員改選 懇親会：立食、福引他	平成 26 年 8 月 9 日 場所：キャッスルプラザ (名古屋市) 出席者：22 名 (今回より、開催時期を春季から盛夏に変更) [特別講演] 石城校長「我が母校諏訪清陵、新たな時代への一步！付属中学校開設を語る」 懇親会：矢崎同窓会長を交えて「談話会」	平成 26 年 10 月 17 日 場所：アルカディア市ヶ谷 出席者：192 名 総会：会務報告、事業計画、会計報告、予算、監査報告、役員改選 懇親会：会長、来賓 (矢崎同窓会長、石城校長) 挨拶、鏡割り、学生と社会人の交流会、校歌斉唱、万歳三唱	支部長死去他諸事情により開催できず。	平成 27 年 5 月 9 日 場所：たつのパークホテル 出席：55 名予定 総会：平成 26 年度事業報告、決算承認、平成 27 年度事業計画・予算案の承認 記念講演：「地域の商工業は、今」 講師：辰野町商工会長 福島英雄 (69 回)	平成 26 年 11 月 28 日 場所：ホテル国際 21 出席者：52 名 総会：支部長、今井正喜 常任幹事、石城校長、あいさつ。懇親会。校歌斉唱、幹事引継ぎ、万歳三唱、ホテル内で 2 次会 ※これまで北信支部総会は 2 月に開催してきたが年度末の忙しい時期となることから今回から 11 月開催とした。
前年度活動	◎平成 26 年 3 月 2 日 第 17 回総会開催 会場：大阪第一ホテル 出席者 35 名 松下会長、守屋教頭挨拶 講演：「私の万葉集」 講師：上島武前支部長 総会：H25 決算、H26 活動計画、予算 懇親会・福引 ◎部会活動 ゴルフ部会 平成 26 年 5 月 21 日 6 名参加 歩こう部会 平成 26 年 5 月 13 日阿騎野 8 名参加 11 月 1 日大和高原 10 名参加 カルチャー部会 平成 26 年 8 月 7 日武井武雄の世界展 21 名参加 会報部会 第 24 号 1 月 20 日発行 (219 名送付) ◎支部役員会 平成 26 年 10 月 26 日 大阪第一ホテル 12 名参加	平成 26 年 7 月 9 日 東海支部幹事会「支部総会打合せ」 平成 26 年 9 月 17 日：東海支部幹事会「支部総会日程、名古屋長野県人会誌掲載の件」 平成 26 年 12 月 20 日：東海支部幹事会「新入会員獲得について」 平成 27 年 3 月 29 日：東海支部幹事会「本部総会、120 周年記念式典に向けて」 平成 27 年 6 月 6 日 (予定)：東海支部幹事会「32 回東海支部総会打合せ」	・東京清陵会だより 25 号の発行、ゴルフ会の開催、清陵本部同窓会、東京同窓連、南信同窓会会議・行事への参加、清陵勉強会 (隔月 偶数月) の開催、寒水会 (小石川高校同窓会との共催) への参加	平成 27 年 1 月 25 日幹事で打ち合わせ、今後の支部運営について対策会議を開催。 参加依頼者は幹事で選考 10 名に依頼書送付。2 月 6 日 6 名で対策会議：支部役員数増員 (会則改定を含む)、役員候補者推薦、総会開催時期等大筋をまとめる。2 月 21 日本部幹事会に山田出席し、会長・事務局長に経緯を報告。本部幹事会の内容を対策会議参加者に報告。	役員会 4 回 ①会員名簿の整理 ②総会参加者増を図る方法の検討 ・町内外の女性会員の参加奨励 ・女性及び 40 歳未満の会員の総会懇親会参加費を 5,000 円にする。 ・総会のみの参加者は 500 円 (写真代) とする。	平成 26 年 7 月 28 日北信支部役員会。 北信支部総会の開催時期を 2 月から 11 月に変更する方針などを確認した。
今年度の計画	・ゴルフ部会 年 2 回 (春・秋) 開催 ・歩こう部会 (年 2 回) 春：夕陽丘天王寺七坂 (5 月予定) ・カルチャー部会 未定 ・会報部会 年 1 回発行	平成 27 年 8 月 1 日 (土) 第 32 回東海支部総会予定 会場：キャッスルプラザ (名古屋市) 時間：A M 11:00 ～ P M 3:00 勉強会、ゴルフ会、寒水会への参加、ミドル交流会新卒歓迎、学生交流会、東京清陵会女子会の開催	・東京清陵会だより 26 号の発行、総会・懇親会の開催 (10 月 4 日 アルカディア市ヶ谷 A M 11:00 ～) 勉強会、ゴルフ会、寒水会への参加、ミドル交流会新卒歓迎、学生交流会、東京清陵会女子会の開催	会計決算報告・会務報告・新役員体制を含め総会議案を取りまとめ、10 月をめどに総会開催予定。これに合わせ総会出席者・年会費納入者増強策を講じる。	①支部総会開催 (平成 28 年 4 月) ②役員会 (随時) ③前年に徹って支部活動の活動を充実させる。 ④新しい事業の実行が可能な検討する。例えば女性部の創設など。	平成 27 年 7 月 北信支部役員会予定 平成 27 年 11 月 北信支部総会予定



MARUMO LADIES' CLINIC

丸茂レディースクリニック

(院長 丸茂元三 82 回生)

〒106-6004 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 4F

TEL 03-5575-5778
FAX 03-5575-5779



なすの整形外科クリニック

院長／医学博士

那須野 秀二

(82 回生)

〒252-0303 神奈川県 相模原市 南区 相模大野 4-5-5 ロビーファイブ D101

Tel: 042-705-3417

	原支部	富士見支部	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部役員	支部長：荒木敬悦 (72 回) 副支部長：藤原光郎 (75 回)	支部長：小池邦治 (70 回) 副支部長：名取重治 (72 回) 事務局：五味昭二 (75 回) 平出重昭 (72 回)	支部長：金井修 (63 回) 副支部長：北原正信 (69 回) 事務局長：樋口尚宏 (77 回)	支部長：舩松重一 (70 回) 副支部長：小泉悦夫 (68 回) 事務局長：藤森和敏 (70 回) 会計：矢崎勝美 (70 回)	支部長：小口俊吉 (66 回) 副支部長：中村奎司 (67 回) 事務局長：大和昭雄 (68 回) 事務局：河西達雄 (68 回)	支部長：花岡征好 (68 回) 副支部長：丸山剛 (64 回)、小口憲司 (69 回)、竹村文男 (72 回)
事務局連絡先	391-0106 諏訪郡原村菅蒲沢 10115 番地 2 TEL0266-79-4019 Email：qqvw8ux9k@lime.ocn.ne.jp	諏訪郡富士見町富士見 4654 TEL0266-62-2208 FAX0266-75-1195 Email：firebird@po4lcv.ne.jp	茅野市金沢 2412-1 TEL0266-72-8302 FAX0266-72-8302 Email：nhiguchi@po26lcv.ne.jp	諏訪市湖南 4223-1 TEL0266-53-3675 FAX0266-58-3625 Email：k.fujimori@arrowz.co.jp	〒 393-0061 下諏訪町御田町 3156-1 河西方 TEL0266-27-8455 FAX0266-28-0637 mail@stepkasai.com	〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 諏訪信用金庫内総務部 TEL0266-23-4567 FAX0266-24-4055 Email：Soumubu-1@suwashinkin.jp
直近の支部総会	平成 26 年 11 月 22 日 場所：八ヶ岳高原樞の本荘 出席：16 名 ・原支部長挨拶、会計報告 ・矢崎同窓会長挨拶 ・石城校長挨拶 ・講演会：八ヶ岳農業実践 大学 高橋農場長、演題「八ヶ岳農業実践大学」 ・懇親会	平成 27 年 2 月 22 日 (日) 場所：大奥 出席：33 名 支部長挨拶、来賓挨拶 (矢崎同窓会長、石城校長)、議案：平成 26 年度事業報告、会計報告、役員改選、講演：「魅力ある富士見町を創る」講師：富士見町長 小林一彦氏 (65 回)	平成 27 年 2 月 7 日 場所：マリオローヤル会館 出席：60 名 同窓会長挨拶及び会務報告：矢崎会長 学校長挨拶及び近況報告：石城校長 講演：文様解説から見える「縄文人の心」 講師：諏方郷土研究所主宰 武居幸重氏 (57 回) 懇親会	平成 26 年 11 月 14 日 (金) 諏訪シティホテル「成田屋」 出席：102 名 矢崎同窓会長、石城学校長挨拶 講演：「企業における商品開発の現状と未来」 講師：ライオンハイジーン 株取締役企画開発部長宮坂 広夫 (82 回)	平成 27 年 4 月 25 日 (土) 18:00 ～ 総会 事業報告 中間決算報告 ミニ講演会 [120 周年記念事業について] 矢崎和広同窓会長「諏訪清陵高校現況報告」石城正志学校長	平成 27 年 2 月 20 日 場所：ホテル岡谷 出席者：67 名 支部長挨拶、来賓祝辞 (守屋教頭、矢崎同窓会長)、議案審議 (平成 26 年度事業報告、会計報告) 報告事項 (当番幹事 82 回生より全体総会についての報告及び協力依頼) 懇親会
前年度活動	なし		平成 26 年 11 月 25 日：支部幹事会開催 (役員の改選及び支部総会について) 平成 27 年 1 月 16 日：(同上) 平成 27 年 2 月 7 日：支部総会開催 平成 27 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	平成 26 年 9 月 4 日：支部役員会 支部総会内容、任務分担、役員改選について 平成 26 年 10 月 21 日：支部総会チケット販売分担 平成 26 年 11 月 14 日：支部総会 記念講演会、懇親会 (幹事 82 回生) 平成 27 年 2 月 23 日：四役会運営方針、行事日程検討 平成 27 年 3 月 26 日：役員会支部行事日程確認、本部総会チケット販売依頼	平成 26 年 8 月 30 日 (土曜日) 午後 6 時 会場 食祭館 24 名参加 76 回生の山岡恵さんによるミニ講演会「こうすれば楽しく楽になる…楽々介護保険のあれこれ」	平成 27 年 1 月 21 日正副支部長会議 平成 27 年 2 月 2 日 支部役員会、16 名参加
今年度の計画	支部総会の開催 (11 月)	平成 28 年 2 月支部総会	平成 27 年 11 月：支部幹事会開催 (支部総会について) 平成 28 年 1 月：(同上) 平成 28 年 2 月：支部総会開催 平成 28 年 5 月：支部幹事宛本部総会の通知及び出席取りまとめの依頼	平成 27 年 9 月 3 日：支部役員会 総会内容、任務分担 平成 27 年 10 月 22 日：支部役員会 支部総会チケット販売分担 平成 27 年 11 月 13 日：支部総会 記念講演会、懇親会 (幹事 83 回生) 平成 28 年 2 月 25 日：支部四役会運営方針、支部行事日程検討 平成 28 年 3 月 25 日：支部役員会 支部行事日程確認、本部総会チケット販売依頼	27 年 4 月総会 27 年 8 月納涼会	平成 28 年 1 月 正副支部長会議 平成 28 年 2 月 支部役員会 平成 28 年 2 月 支部総会



あすみが丘

佐野眼科

佐野研二 (82 回生)

千葉市緑区あすみが丘 1-1-8 TEL 043-295-3900

マルヤス電気 株式会社

藤森 喜久雄 (45 回生)
藤森 潔 (72 回生)
藤森 直毅 (102 回生)

〒392-0012 長野県諏訪市四賀 2218-15
TEL 0266-52-1433

学年会短信

< 40 回生 >

私ども述志会の同級生は、昭和 14 年卒業以来もう 76 年の年月が過ぎ去りました。卒業をまたずに陸士や海兵に進み、また職場から太平洋戦争に参加して大勢の方が亡くなりました。述志会の会合も開かれなくなって何年にもなります。年賀状などで近況を知らせ合っていましたけどだんだん途絶えてきました。生きておられる方は誰だろうと数えてもほんとに少なくなりました。けれども、動物の保護活動に努めている方、植物の観察調査をしている人、読書や物づくりに生きがい求めて努力されている方など、紙上に報じられたり、耳にしたりします。皆、健康に気をつけて、目標を描いてがんばっています。

(〒 399-0101 諏訪郡富士見町境 3998 加々見一郎)

< 45 回生 >

今年も長野日報に【ふるさとへの賀状】あり。

岩波一寛兄の記事を掲載させていただく。

『昭和の初期に私は岡谷小学校と上諏訪の中学校で学んだ。教育県といわれる正確な理由を知らないが、それは素晴らしい教育環境だった。例えば旧制諏訪中学校では生徒の自治が大事にされ、先生たちは教育者であると同時に研究者でもある方が多かった。時代の違いなどとは割り切れない。それは大事な教育の基本要件だと私は思う。ふるさが立派な教育県であり続けてほしい』

昨年の暮れに諏訪地方は豪雨大雪警報が発せられた。今年になり寒さ続くも御神渡はなかった。

亡き師や友の冥福を祈ると共に、45 回生諸兄の健勝を諏訪の地より祈っている。

(幹事 小松一弘 TEL0266-52-6911)

< 50 回生 > (互助会)

平成 26 年 8 月 17 日、諏訪市仙岳で互助会諏訪の会が 17 名で行われた。平林茂幸君が物故者名を伝え、村上賢次君が先導して黙祷を捧げた。竹村一司君、荻原儀久君が思い出話などしてもらい、又伊藤博夫君には 28 年の御柱に関連して、茅野市玉川穴山の御柱ひき手の難所(伊藤君の家の前の曲がり角)の話をしてもらった。

散会あとカラオケにまわったところへ、行事が重なって最初の会に参加できなかった中村平治君、武井秀夫君が合流。従って 19 名が参加したことになる。

同年 10 月 8 日に互助会東京の会、毎年お世話になる如水会館で行われた。有賀英夫君、林正弘君、野口健児君が常任幹事だ。諏訪から参加の竹村君が写真資料を配って思い出話をした。参加者 33 名という盛会。50 回生は昭和 19 年入学、新制高校まで在学した諸友は 25 年卒業の 6 年間の同期。何れも御柱の年、28 年の御柱祭には元気に逢おうと話す。会の後、菱田春草展まで多くの諸君が付き合ってくれた。

(学年幹事 宮阪芳久)

< 52・55 回生 > (双樹会)

われわれ双樹会が全体活動を終息して 1 年以上たちました。毎年轻会だった東京の納涼会、諏訪の双樹会総会はなくなりました。しかし東京、諏訪それぞれの行事は依然続いています。東京の月例会は今年、奇数月第 3 月曜日に東京八重洲口「扇寿司」(03-3271-8505)で行っています。諏訪の 7 日会は上諏訪駅近くの「いずみ屋」(0266-52-3267)で毎月実施、最近参加者の希望で夏期は 6 時、冬期は 11 時開会にしています。それぞれ 10 数名が参加、賑やかに懇談しながらお互いの健勝を確かめ合っています。

双樹会物故者の慰霊法要はしばらくの間毎年行うことにして、今年も昨年同様 10 月 7 日(水)に諏訪市の地藏寺(0266-52-0824)で 11 時から行います。終了後「いずみ屋」で 7 日会をする予定です。春には、東京は高尾山で、諏訪は高島公園でそれぞれ花見会を予定するなど何かをやっていないと気がすまない癖は今後も続きそうです。

(52 回生 学年幹事 千葉春男)

< 60 回生 >

60 回生を睦和と命名したのは、当時学生幹事の平沢澄夫君である。

小学校 1 年生の時終戦を迎えて今年で 70 年。我々も今年は喜寿の年となる。当番学年となる 2～3 年前より準備会を組織し、宇宙飛行士の毛利さんをお呼びし、そのまま地元と東京で交互に毎年学年総会と称し年に一度、一堂に会している。今回は地元より東京地区の方が参加者が多いこともあり、横浜で 11 月 22 日「いい夫婦の日」を選んだが、会場の都合で 11 月 15 日に夫婦連れ原則で(100 名予定)おめでたい名人落語会と大懇親会を催す予定。喜寿(80 歳)の祝いは色々の都合でかかるイベント開催は最後かも……。

(60 回生学年幹事 笠原文武)

< 63 回生 > (六三会)

今年は母校創立 120 周年です。例年の定期総会の開催(6 月 27 日)とは別に、10 月 24 日に 120 周年記念事業として記念式典、祝賀会、記念講演会、記念誌発行等が計画されています。「六三会」のみなさんも卒業後半世紀以上経た今の母校を訪れる良い機会かと思えます。多くの方々の参加を望みます。

さて、今年の「六三会」は去る 3 月 6 日に諏訪のクラス幹事会を開き又東京の代表幹事とも語り、11 月上旬に東京で開催することになりました。日時、場所等詳細は決定次第各クラス幹事からご案内しますので、多くの皆様(特に東京地区在住の方々)のご出席をお願い致します。

(学年幹事 原 宏 諏訪市中洲 5270 TEL52-3332)

< 65 回生 >

1. 同年会について

恒例の同年会は、今年は 2 部が当番幹事です。

現在日程等について検討中です。

開催日程と場所等が決定次第連絡しますので、多数の参加をお待ちしています。

2. 「八日会」について

諏訪地域在住の 65 回生有志が集まっての飲み会である「八日会」は、引き続き実施しています。毎月 8 日の午後 6 時 30 分から上諏訪駅前の「いずみ屋」で固定開催していますので、気軽に参加してください。諏訪地域在住者以外でも諏訪へ来た際にはぜひ顔を出してください。

(幹事 / 青木成雄 0266-53-0072)

< 67 回生 > < 麓七会 >

“清陵出てから 50 年”の行事として、昨年(平成 26 年)9 月 7 日(日)にライフプラザマリオにて 53 名が出席し、盛大に麓七会同年会を開催しました。記念撮影のあと、校歌斉唱、物故者黙祷、そして応援歌等を歌い和気あいあいのうちに終了しました。古希を一年後に控えた同年生が、50 年前にスリッパして“お前誰だ?” “本当に久しぶり!” “あの時はなあ…”等 愉快に、楽しく歓談しました。閉会后、各クラス毎に同級会も行なわれました。翌日の 9 月 8 日は、有志により諏訪湖 CC にて記念ゴルフ大会が、また、母校の御好意により母校訪問と見学会を実施しました。楽しい 2 日間



は、あっという間に過ぎました。なお、次回開催を望む声も多く、何れの日にか開催出来ればいいなと幹事一同感じた次第です。

(幹事 熊澤祥吉)

< 68 回生 >

68 回生諸君! 集いて大いに語ろう! 同窓会総会懇親会終了後、68 回生の第 15 回学年会を開催します。皆様には連絡できる学友と誘い合って、是非学年会にご出席ください。欠席される方で近況等連絡事項のある時は FAX 下さい。皆に伝えます。

1. 日時 6 月 27 日(土) 18 時 30 分から

2. 会場 紅蘭(諏訪市湖岸通り 5-17-7

TEL: 0266-58-1443)

3. 会費 3,000 円(当日会場で徴収)

4. 出席・欠席の連絡不要

☆問合せ先: 学年幹事 矢沢昭三

TEL: 0266-58-1443 FAX: 0266-52-5177

< 69 回生 > 「無垢の会」

今年は 120 周年を記念して、9 月 9 日(水)ゴルフ・宿泊・懇親会を計画しましたので、大勢の方々の参加をお願いします。詳細は、メール・はがきで通知します。

①大懇親会・宿泊

日時 9 月 9 日(水) 午後 6 時より

場所 蓼科温泉 親湯「清流亭」(茅野市北山蓼科 4035)

担当 矢澤博(090-3312-1469) hiro.yaza.8974@gmail.com

②親睦ゴルフ

85 歳まで、120 回開催に向けて皆でがんばっています。

第 58 回: 4 月 12 日(日) / 第 59 回: 6 月 24 日(水) /

第 60 回記念ゴルフ: 9 月 9 日(水) 宿泊懇親会 /

第 61 回: 11 月 8 日(日)

会場 フォレストカントリークラブ三井の森

担当 小口憲司(090-3063-5871) okenji1107@softbank.ne.jp

③定期総会終了後の懇親会

日時 6 月 27 日(土) 午後 6 時 30 分より

場所 串焼一丁目(諏訪市大手一丁目)

担当 小口憲司(090-3063-5871) okenji1107@softbank.ne.jp

④東京支部総会終了後の懇親会

日時 10 月 4 日(日) 午後 5 時より

場所 未定(別途連絡します)

担当 比田井昌英(090-2545-7038) masahide.takadahidai@gmail.com

⑤女子会 皆が集まりやすい日時と場所を幹事から連絡します。

< 70 回生 >

平成 15 年度に本会同窓会当番幹事の任を大勢の同期の仲間結集し無事果たしそれ以降においても毎年、総会(ホテル「紅や」)が終了した後、学年会を別会場を設け恒例で開催しています。その他に日をかえて、同期生の愛好者で「ゴルフコンペ」を年一回行い親睦を深めています。60 歳を過ぎ一応仕事上の現役を卒業しそれまではあまり参加できなかった仲間も次第に懐かしさを感じて加わるようになり、更に、65 歳を過ぎいよいよ第二の人生も区切りとなり、改めて参加への気持ちがいってきて出席をといったメンバーも加わっています。やはり、この年齢を迎える頃には、今まで仕事に、家庭に追われ目一杯走ってきて、やっと一息ついて来し方を振り返りその懐かしさに青春時代の仲間と語らい、酌み交わしてみようという気持ちもあつてか、ここへきて初参加というメンバーも出てきています。ぜひ一度参加してみてください。私の方から毎年総会(合わせて、学年会の開催を含め)の開催のご案内を往復ハガキにて出しています。如何せん毎年全員までとはいきませんので下記までご一報いただければ結構です。また、お知らせのハガキをお出しするようにいたしますので遠慮なくご連絡ください。

70 回生学年幹事: 小松重一

〒 392-0006 諏訪市元町 10-11

電話 0266 (52) 1529 (FAX 同じ)

携帯 090-9359-4400

< 71 回生 >

「71 回生の全員が晴れて前期高齢者の仲間入り。今年も元気に学年会とゴルフコンペを開催します。

詳細は 71 回生メーリングリストで通知しますが、未加入の方は

祝 旧制諏訪中学校・諏訪清陵高校 創立 120 周年

地域の皆様に支えられ、「諏訪響」も創立 90 周年を迎えました。

諏訪響
SUWA SYMPHONY ORCHESTRA

90 周年記念定期演奏会

11 月 29 日(日)

公益社団法人 諏訪交響楽団 理事長 丸茂洋一(82 回生)

Anniversary
カノラホール
(岡谷市文化会館)

祝 諏訪清陵高校創立 120 周年

創業 150 年



さらに皆さまと共に

株式会社 豊島屋



本社 / 394-0028 長野県岡谷市本町 3 丁目 9-1 電話 0266-23-3515 (代)

学年幹事・渋江までお問い合わせを。

また、昨年までの活動は、ホームページで確認できますよ。

<http://www.suwaseiryu71.org/>

問い合わせ先

代表幹事・渋江利明 TEL090-4751-9642

E-mail: shibue@shibue-seimitsu.co.jp

< 72 回生 > (篝火 (かがりび) の会)

「Google」で「篝火の会」を検索し、「72 回生のホームページ」の「清陵のお庭」に入っていると、毎日の学年メンバーの随筆（雑談）集に出会えます。72 回生に限らず皆さんの自由な投稿をお待ちいたします。今年は、5 月に第 3 回目の修学旅行として「『善光寺の御開帳』と『別所の北向観音』をめぐる旅」を実施しました。例年、東京地区の活動は北沢章司氏（5 部 電話 042-373-0654）を幹事として納涼会や忘年会などを開催、諏訪地区では月例会（第 4 土曜日）及び忘年会（12 月 29 日）を 19：00 より「レストランくるみ」（茅野市 4 部小池義一氏経営 電話 0266-72-5640）で開催し、語り合いの輪をひろげ、絆づくりをしています。同窓会総会后 19：00 頃から学年総会を開催。場所はいつもの「伊呂波（諏訪市大手町 電話 0266-58-0365）」。会費 3,000 円位。参加希望者は 6 月 25 日までに幹事 新井（090-7008-4743）へ。来年の御柱祭にはお宿を設営予定。みなさんのお越しを楽しみにしています。

< 77 回生 >

いよいよ本年は 77 回生同期会を実施いたします。恩師の先生方とも連絡を取り、9 月の連休を利用して諏訪の地にて楽しく、和やかに開催すべくクラス幹事中心に準備しておりますので、諸兄姉の参集を心からお願いするところであります。

(77 回生学年幹事 長田光正 0266-41-0172)

< 80 回生 >

昨年の総会後の懇親会では同期生用にテーブル 1 つ（10 人）確保しておいたのですが、それ以上の出席があり、数名他のテーブルに移ってもらい申しわけありませんでした。今年はテーブル 2 つ（20 人）を目標にしたいと思いますので出席できる方は大久保までご連絡ください。同期生だけの二次会も並木通りあたりでやりたいと思います。

その他各地で 80 回生の集まりはあるようですが、1 月 1 日元旦 17：00 から茅野駅ビルの「福福屋」での会が恒例になっています。今までチロルの高橋君が幹事でしたが、来年は都合で阿部君（キッツ）です。帰省している人たちも含め多く集まります。毎年一人か二人は、卒業以来会っていなくて誰なのかわからない、という人も来ます。出られる人は阿部君に連絡してください。

また、同期生の消息などをメールで配信しています。現在 40 名くらいのリストがあります。私までメールをいただければリストに加えたいと思います。よろしくお願いします。

我々は、ちょうど子どもたちが母校でお世話になり、大学進学したり、就職したり、あるいは現在清陵に在学していたり、という世

代で、飲んでいても一番の話題になります。

今後も母校のため出来る限りの支援をしたいと考えています。

(80 回生学年幹事 大久保純男 sokubo@po22.lcv.ne.jp)

< 81 回生 >

昨年は、我々 81 回生が幹事年の同窓会定期総会でしたが、多くの方々のご協力のもと、成功裏に終わることができ、ホッとしております。

また、幹事学年による総会赤字の補填カンパの廃止や同窓会会報業者の見直しによる費用節約、広く各方面に呼びかけたことによる広告費の大幅な増額など、今後に活きるいくつかの改革ができたのではないかと自負しております。

学年の結束も固く、総会当日は 90 名以上の仲間がかけつけ、受付や会場整理、パネラー等、それぞれの立場で活躍し、運営を支えてくれました。

総会終了後は、幹事年を無事に務めるために再び深まった学年の絆を絶やさぬために定期的に集まる機会を設け、広く参集を呼びかけています。今年も、6/27 の定期総集会和その後の 81 回生だけの二次会の案内を既にお送りしてあります。多くのみなさんの参加をお待ちしておりますので、まだ返信をしていない方は学年幹事までご連絡ください。また、11 月第 4 土曜日（今年は 11/28）の横谷温泉での同窓会も定例化していきますので、こちらもぜひ今から予定しておいてください。（学年幹事：山田 亨）

< 82 回生 >

我々 82 回生は大雨で中止となった一昨年の諏訪湖花火大会の翌日の 8/16 に初めて学年として集まり、昨年の同窓会のブレ幹事で多くのメンバーが紅やに集結し、今年は 120 周年の記念すべき年の幹事年として、大きなプレッシャーを感じつつ、楽しみながら準備を進めています。

秋の記念式典では、我々と同学年のノーベル物理学賞受賞名古屋大学天野浩教授を講師としてお招きすることができ、大変光栄に思っています。

また同窓会では世代を超えたパネリストによるパネルディスカッション、諏訪響の演奏、諏訪地方の地酒の飲み比べ、記念酒升、手拭い、法被など 120 周年の記念・思い出に残る色々な企画をしました。

まだまだ現役で皆多忙な日々を送る働き盛りですが、今年の活動をきっかけに定期的に集まりたいと思います。詳細は 82 回生のホームページで。懐かしい卒業写真も掲載してます！

手拭いの注文も受け付けてますので、是非大量予約をお待ちします。いざ 6/27 は皆、紅やに集結を！

<https://sites.google.com/site/suwaseiryu82/>

(学年幹事 丸茂洋一)

< 83 回生 > (祥雲会)

私達 83 回生は、昨年 8 月 14 日に諏訪市の「ぬのはん」にて 5 年ごとを目途に開催している同学年会「祥雲会」をおこない、交流を

深めました。会は、幹事のあいさつに始まり、記念撮影、懇談に続き、スクリーンに映し出されるクラスごとの卒業写真の前で、近況報告を行います。それぞれ、体型や髪型など容姿の変化やここ数年のとりまく環境の変化などを発表しました。会の終盤は、エンターテイナーの後藤敏君の寸劇で笑いを誘い、「民」と「校歌」で締めくくりました。本当に楽しいひとときを過ごしました。

会の中でも話題にしましたが、今年は私達も、いよいよサブ幹事の年になり、先輩の補佐をするとともに、来年に向けて準備を始める年になります。若輩ではありますががんばりますのでご協力お願いします。

< 88 回生 >

88 回生の皆さんへのお願いとお知らせです。

Facebook で「諏訪清陵高校 88 回卒業生」グループに参加ください。

昨年、女子有志中心に同窓生の大搜索を行い、55 名の同窓生とコンタクトがとれグループに参加いただいています。帰省や飲み会の連絡、イベントへのお誘い、などなど、活用されています。

非公開グループになっていますので、まず、友達リクエスト（矢嶋浩行、高島由季子、須藤美香里、杉田啓子、倉科和則あて、誰でもいいです）いただければ、グループ参加できるようになります。

夏に 88 回生大同窓会実施します！（2015/8/8 於ホテル紅やを予定）詳細は Facebook にてご確認・ご連絡となります。

卒業以来、30 年ぶりの再会という人も、会うとすぐに 30 年前に戻れます、楽しいです。ぜひぜひご参加ください。

(学年幹事 倉科和則)

< 92 回生 > 「九二会」

H26 12/3 新宿 東京清陵九二会忘年会（10 名）

H27 4/1 諏訪 九二会 6 部同級会（7 名）

<お願い> 6/27 土 17：00－18：30 同窓会懇親会にて、サブ幹事として、日本酒の振る舞いのお手伝い 3 名募集中。ご協力頂ける方ご連絡下さい。

(学年幹事 笠原健一 kenkasa@imail.plala.or.jp)

< 93 回生 > 「久燦会」

93 回生の柳澤寿男氏指揮による「世界平和コンサートへの道」プロジェクトでは、同期や先輩、後輩の皆さんにご協力いただきました。ここで紙面をお借りして御礼申し上げます。

柳澤寿男氏は、現在、バルカン室内管弦楽団音楽監督ならびにコンボフィルハーモニー交響楽団首席指揮者として、紛争の傷跡が残るコソボと日本を行き来しながら、平和を願って音楽活動を続けています。

2014 年は第一次世界大戦の引き金となったサラエボ事件から 100 年の節目の年でした。2013 年 8 月 11 日、新宿駅東口での野外第九パフォーマンス（フラッシュモブ）を皮切りに、日本で数々の平和祈念コンサートを行ってきました。2014 年 6 月には、旧ユーゴスラヴィアの民族共栄オーケストラ・『バルカン室内管弦楽団日本公

演』、そして、同 6 月下旬には、同オーケストラによるサラエボでの第九平和祈念コンサートを行いました。「世界平和コンサートへの道」と題し、戦後交流のなくなった旧ユーゴの文化交流と隣人との共存共栄・平和を願ったコンサートでした。中でも、下諏訪町総合文化センターにて 5 月 31 日、6 月 1 日に行われたコンサートには多くの同窓生の方々に足をお運び頂きました。ありがとうございました。

今年度は、広島、長崎に原爆を投下されてから 70 年の節目の年です。そこで、「戦後 70 年に奏でる被曝ピアノコンサート」と題して、以下のような企画でコンサートが行われます。

①日時…2015 年 8 月 25 日（火）19：00～

②会場…岡谷市のカノラホール小ホールにて

③内容…柳澤寿男氏の語り & ピアニストの奥様美華子様による被曝ピアノ演奏

④チケット代…一般 4000 円、高校生以下 2000 円

300 席弱の会場ですので、お早めにチケットをお求めください。このような氏の活躍を応援しようと『指揮者柳澤寿男諏訪後援会』が発足し、同窓会の先輩方も大勢関わってくださっています。同期生の皆さん、我々もぜひ応援していきましょう。また、同窓会報をご覧になり、興味をお持ちになった方も共に応援をお願いいたします。個人として後援会の会員になってくださる方は一口 3000 円になります。恩師の先生方も会員になってくださっています。詳しくは、以下のヘメールで尋ねください。

私は、学年幹事として、氏の応援団長を続けてまいります。これから先も、諏訪の平らをはじめ、日本各地でもコンサートで指揮をする機会があると思いますので、同期の皆さん、ぜひ一緒に応援してまいりましょう。また、同窓生の皆様にも応援の輪を広げていきたいと思っています。

ほかにも活躍している同期生がいれば、ぜひ応援をしていきたいと思いますので、ご連絡ください。

(学年幹事／吉川豪 yskwgo@yahoo.co.jp)

< 97 回生 >

私たち 97 回生は卒業より 20 年を経過いたしました。

卒業の後、各クラスごとや仲の良い集まり等の単位で同期会が開催されてきておりますが、この機会に学年単位での同期会を企画できたらと思っています。まだまだ企画段階ですので実施時期は未定となりますが、各クラスごとの幹事を通じて全員に連絡できればと考えております。その際には、ぜひご参加いただき再度交流を持ち始めるきっかけとなればと考えております。

(学年幹事代行：西村英一) tk1393@excite.co.jp

一級建築士事務所
株式会社 アトリエ

茅野

茅野 益実 (72回生)

茅野 昌登 (102回生)

〒392-0012 長野県諏訪市四賀2767-1
TEL 0266-58-6226 FAX 0266-58-6063
e-mail chino923@seagreen.ocn.ne.jp

カントリーキッチン くるみ
小池義一行政書士事務所

小池 義一 (72回生)

〒391-0001 長野県茅野市ちの236-7
TEL 0266-72-5240 FAX 0266-72-3715
e-mail kurumi-lion23@keh.biglobe.ne.jp

医療法人 新誠会

宮坂クリニック諏訪

院長 宮坂 誠 (82 回生)

〒392-0016 諏訪市豊田船戸3101番地24

TEL 0266-57-2700

FAX 0266-57-2788

清陵高校クラブ後援会（3 者）会計報告（PTA・同窓会・校友会）

平成 9 年度に PTA・同窓会・校友会により結成された「清陵高校クラブ後援会」も発足以来 18 年を経過しました。同窓会からは会員各位のご理解を得るなか、この 18 年間に約 4,844 万円のご援助をいただいてまいりました。

平成 26 年度は延べ 120 を超える大会に約 1,600 名の生徒が「清陵」の名を背負って参加し、頑張っておりまいました。中でも、端艇部、ソフトテニス部、陸上部、スケート部、山岳部、音楽部、古典ギター部、書道部、美術部など多くのクラブが全国大会に出場するなど、栄誉ある成績を収めることができましたが、これらの成果が残せたのも同窓会の会員の皆様をはじめとする後援会の皆様のおかげであると生徒及び関係者一同深く感謝しているところでございます。

平成 27 年度につきましても、各クラブとも前年以上の成績を収めるべく活動を始めておりますので、引き続き絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(学校事務長 井出 匡彦)

「清陵高校クラブ活動同窓会後援会」ご協力をお願い

平成 9 年度の定期総会において「母校のすべてのクラブ・同好会に関して、母校を代表して各種大会等へ出場する場合の生徒遠征費等を支援すること」を目的に標記の後援会が発足致しました（詳細は平成 9 年発行の「会報第 23 号」参照）。

平成 9 年度からの 5 年間（第 1 次）に 1,730 名からご協力（入会）を頂き、平成 14 年度からの 5 年間（第 2 次）は 1,701 名、平成 19 年度からの 5 年間（第 3 次）では 1,239 名、更に第 4 次の平成 24 ～ 26 年度は 3 年間で 1,550 名を越える多くの方々のご協力（下記一覧表）を頂きました。その結果、昨年度まで合計 4,844 万円を母校に贈ってきています。

平成 24 年～ 28 年を第 4 次になっておりますが、毎年この「同窓会報」発送の折に会費（5 年分 10,000 円）のご協力を頂きたく「払込取り扱い票（郵便振替用紙）」を同封してあります。

ここ数年は運動系のクラブのみならず、文化系のクラブも活発な活動を展開し、文武両道の活躍が目立ってきており、その結果「クラブ後援会」の支出が増えています。

第 4 次からのご協力者数の増加を心から感謝申し上げますが、後輩のためにも「校友会・PTA・同窓会」の 3 者からなる「諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会」にいらっしゃるご協力をお願い致します。

平成 26 年度クラブ活動後援会（3 者）会計決算

収入総額 10,673,206円
支出総額 10,630,341円
差引残高 42,865円

収入の部			(単位：円)			支出の部			(単位：円)		
科 目	予算額	収入済額	差引増減	科 目	予算額	支出済額	差引増減	生徒遠征費	6,376,000	7,415,402	△ 1,039,402
繰 入 金	9,070,000	9,877,361	807,361	大会参加費	1,410,000	1,379,814	30,186	登 録 料	846,000	1,067,640	△ 221,640
同 窓 会	2,980,000	2,980,000	0	施設使用料	752,000	739,955	12,045	事 務 費	18,000	27,530	△ 9,530
P T A	4,800,000	4,800,000	0	予 備 費	10,000	0	10,000	積 立 金	0	0	0
学 友 会	1,290,000	1,290,000	0	合 計	9,412,000	10,630,341	1,228,341	クラブ活動後援会 積立金会計	0	807,361	807,361
県費等補助金	302,000	756,005	454,005								
雑 収 入	308	148	△ 160								
繰 越 金	39,692	39,692	0								
合 計	9,412,000	10,673,206	1,261,206								

ご送金方法

- 同封の「ゆうちょ銀行 払込取扱票」をお願い致します。振込手数料は本会の負担ですが、節約のため、可能な限り「ATM」をご利用願います。
- ご都合で 5 年分一括でない場合は、お手数ですが金額を訂正してお振り込み願います。

最近 8 年間の実績（3 月 31 日現在）

	平成年度	協力金額（円）	協力者数（人）
第 3 次	19	3,526,260	356
	20	2,483,920	252
	21	2,491,963	246
	22	1,958,280	198
	23	1,841,480	187
第 4 次	24	5,270,660	535
	25	5,105,670	522
	26	4,886,180	495

平成 26 年度 諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会 収支決算報告（案）（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

収入総額 14,020,173円
支出総額 2,980,864円
差引残高 11,039,309円

収入の部			(単位：円)			支出の部			(単位：円)		
費 目	収入額	備 考	費 目	支出額	備 考	費 目	支出額	備 考	費 目	支出額	備 考
繰 越 金	9,133,662	前年度より	拠 出 金	2,980,000	学校後援会へ	振替手数料	864		合 計	2,980,864	
会 費	4,886,180	495 名									
雑 収 入	331	普通口座利息									
合 計	14,020,173										

名簿編集委員会からのお知らせとお願い

名簿編集委員長

古原 正之（69 年生）

120 周年記念同窓会「会員名簿」は 3 年間に亘り情報提供戴きました会員をはじめ、広告協賛戴きました多くの皆様方のご協力によりまして完成致しました。心より感謝申し上げます。

名簿購入希望されました方には、間もなく宅急便にてお手元に届くかと思います。業者より前もって「会員名簿」着払いの連絡がありますので、代金 5,000 円をご用意のうえお待ちください。

今回の名簿が全会員記載の最後のものと思われます。大切に保管のうえ、ご活用戴ければ幸いです。

なお、「会員名簿」は、購入の希望を戴きました方の冊数を作成

致しましたが、若干の予備分がありますので、購入を希望される方は、同窓会事務局までお申し込み戴ければ幸いです。一冊 5,000 円で、着払いとなります。無くなり次第、終わりとさせていただきますのでご了承ください。

現在、同窓会では毎年 5 月頃に「同窓会報」を発行し、皆様に届くよう努力しておりますが、今後氏名・住所・勤務先・職歴等に変更が生じた場合は、同窓会事務局まで、はがき・FAX・ホームページ・メール等でお知らせくださるようお願い申し上げます。

クラブ後援会会員芳名（敬称略）

以下の名簿は、第 4 期（平成 24 年～ 28 年）クラブ後援会会費をお振り込み下さっている方々です。

21 年生	41 年生	植松 康郎	伊藤 順一	伊藤 愛士	山崎 壯一	北原 良郷	小林 浩	小林 常晃
小口 長重	小口 一太郎	北澤不二彦	上原 博男	伊藤 友彦	横川 端	小池 寛	小林 宏	小林 英雄
25 年生	小口 俊弘	小菅 重男	小口 登	今井 溜	52 年生	小泉 幸雄	五味 敏雄	小林 秀文
小口 克郎	馬場 治久	原 義郎	川北 利雄	岩田 昌久	小松 茂	小松 文吉	五味 瑞治	小林二二三
28 年生	小林 一郎	五味 清隆	川窪 純光	牛山 博美	小松 文吉	小宮山啓一朗	篠原 康夫	小林由喜夫
小平 等	小松 三郎	関 弥之助	北原 治房	小口 順吉	伊藤 公夫	酒井 利男	清水 澄	五味 公夫
30 年生	小松 善孝	竹川 寛	木下 芳英	小坂 幸三	今井 文人	酒井 敏夫	清水 勝	五味 康躬
伊藤 和泉	新村 宇門	林 四郎	小池 昭彦	唐澤 重雄	牛山 房弘	里見 一夫	白田 充	繁宮 伯行
中島 和市	百瀬 貞夫	坂田 清次	酒井 雅義	菊地 金光	浦野 実	三溝 善一	高橋 長幹	菅沼 伸梧
31 年生	平出 欽一	藤森 弘國	鳥羽 良也	小池 富夫	萩上 泰男	清水 東	武居 幸重	関 純一
宮坂 水穂	増澤 康正	山田 章人	永由 利弘	五味 隆俊	小口 明	下平 勝幸	武田 進吾	千代 務
矢島 茂弘	松田 保人	46 年生	小池 賢	古室長太郎	河西 孝雄	高野 幸	立石 千秋	今井 稔子
35 年生	矢島 千晴	伊東 徳和	藤森 正好	溝口 章夫	金子 信也	武居 浩明	茅野 嘉利	竹淵 修二
増沢 一男	42 年生	今野 廣久	宮坂 勝郎	宮坂 知夫	小島 保	青木 亨	塚原 重雄	田中 得一
36 年生	伊東 清博	齊木 堯	宮坂 知夫	矢嶋 國夫	藤澤 昭	土橋 平治	中澤 富夫	茅野 充男
熊谷 久志	小口 千晴	小口 久市	山岡 正邦	山岡 正邦	白川 太一	土橋 平太郎	永島 豊	寺島 亮三
中村 清寿	小口 郁夫	帯川 藤夫	山岡 正邦	山村 泰彦	関 裕安	永坂 開市	中山 修身	鈴木由美子
吉江 住次	久保 光保	河西 利男	北澤 興司	49 年生	千野宗之進	花岡 宏	濱 宏幸	永田 賢行
37 年生	小池 正雄	五味 昭二	小平 久平	今井 千浩	茅野 實	林 正高	林 幹人	名取 次夫
宮澤 康夫	小池 亮治	小松 廣	小松 健彦	上原 秀秋	友野 弘	藤森 三男	日野 喜之	花岡 孝次
38 年生	片桐 好	飯沢 平臣	武井 厚隆	小沢 裕	浜 一栄	保科 正明	牧 庄一	濱 實
大澤 一雄	山田 保	山田 藤雄	千野 貞夫	笠原 俊彦	林 尚孝	青木 瑞枝	松澤 宏昭	林 善八郎
笠原 明	山田 藤雄	43 年生	細川 昭	笠原 正道	藤森 三朗	堀川 尚武	溝口 藤雄	林 良一
金丸 寿男	今井五十二	今井 照隆	増澤喜美夫	片瀬 豊	藤原 健市	増沢 修	宮阪 章三	原田 真弓
小林 克己	今井 照隆	北澤 謙吾	宮沢 信雄	北澤 素幸	降幡 泰夫	松澤 真典	宮澤 功吉	藤森 照尚
立木 正純	北澤 謙吾	北原 善次	矢島 昭	久保田 貢	堀田 満	三沢 理一	両角 満次	藤森 真澄
藤森 千史	小泉 末也	小泉 末也	47 年生	小池 久	吉田 守	宮澤 弘	横田 健次	堀田 裕人
前田時太郎	44 年生	伊藤 善光	小澤昭一朗	小池 光磨	51 年生	宮下 敬三	和田 昭通	眞下 テル
三井 閑	伊藤 岩廣	今井 一之	伊藤 岩廣	酒井 喜彦	矢崎 芳直	宮本 卷	渡邊 道隆	御園 廣實
矢ヶ崎孝雄	今井 一之	久保 祐雄	今井 一之	代田 繁夫	横内 孝夫	望月 均	58 年生	宮坂 栄治
39 年生	久保 祐雄	久保龍太郎	久保龍太郎	鈴木 邦彦	米澤 時雄	淵上 良子	河野瑳智子	宮澤 立郎
永井 俊夫	久保龍太郎	久保田泰正	久保田泰正	高尾 利数	渡邊 義郎	矢崎 和雄	河野瑳智子	守田 恒
栗林 松治	小平 信一	小林 正樹	小林 正樹	土田健次郎	55 年生	矢崎 源吉	坂戸 邦年	矢嶋 聰
平林 義郎	小林 正樹	小松 誠	小松 誠	土橋 達也	小平 功	矢崎 源吉	坂戸 邦年	山口 宗彦
40 年生	五味 誠	佐野 正美	原 幸宜	名取 章	五味 省七	石森美代子	石城 浩吉	吉田 嵩
田中 宗和	佐野 正美	原 幸宜	関 一博	松木 庄師	柳澤 秀勲	渡部 清	伊藤 彰彦	59 年生
小口 多聞	原 幸宜	関 一博	立石 洋司	林 厚彦	56 年生	57 年生	伊藤 長城	赤沼 光彦
加々見一郎	立石 洋司	田中 薫	丸山 数馬	藤本 隆晴	市川 一雄	天野 丈久	伊東 史博	赤羽 義章
野口 朝一	丸山 数馬	宮坂 武夫	宮坂 貢	宮坂 敏彦	市川 兼三	池田 賜恩	今井 正喜	朝倉 周一
林 牧男	宮坂 貢	田中 薫	丸山 数馬	平出 康彦	今井 常豪	大井 利夫	岩佐 時雄	伊藤 忠三
45 年生	48 年生	秋山 宣夫	跡部 雅俊	天野 力夫	植松 一男	岡田 茂	梅垣 弘	上原 寿雄
岩波 一寛	西沢 寛	50 年生	宮坂 順一	宮坂 祐次	牛山 昭重	小野 寿勇	小口 正	牛山 孝
		52 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男	萩原 能男	河西 昌彦	小野 寿勇	小川 勝嗣
		54 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男	濱 和彦	笠原 忠夫	河内 昌彦	小澤 廣利
		56 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男	河西 啓二	上條 衛	小倉 滋夫	小尾 建二
		58 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男	神山 幸雄	片倉 新平	大和 一昭	加賀美久高
		60 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男		上島 武	久保 幸彦	金子 政喜
		62 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男		小林 晋作	小平 伯満	北川 廣紀
		64 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男		小林 俊光	小林 哲	小林 征史
		66 年生	宮坂 幸男	矢崎 幸男			小林 仁一	小松 巖

小松 守 五味 鼎遵 清水 真幸 白倉 徹哉 城取 俊昭 進藤 健司 武井 勇二 田中 虔一 土橋 貞夫 中川 良平 中島 伸一 永田 弘幸 濱 實 魚沢 茂登 林 正幸 原 宏一 細野 祐 松澤 俊志 松下 勲 松島 久夫 丸山 茂夫 宮澤平八郎 矢崎 豊国 山崎 雄二 中山 篤 山田 正幸 吉田 英登	田口 稔 田中 拓二 永田 郷雄 名取 正富 野澤 勲 野竹 虎夫 波間 哲郎 林 貞良 原 敏人 平澤 澄雄 平林 國男 藤森 和弘 藤森 弘 二木 隆 堀 晃 堀 浩 宮坂 博巳 高岡 正則 宮澤 政文 矢崎清太郎 柳澤 忠志 横内 仁 吉山 善博 米沢 豊	小林 五郎 原 一平 真道 道則 平野 国政 藤森 幹仁 降旗 清文 堀内 洋治 堀川喜代太郎 宮坂純一郎 宮坂 真也 高見澤忠明 守屋誠太郎 矢島 穆 柳沢 省一 柳平 啓明 横川 紀夫 横山賢太郎	小坂 祥造 尾澤 弘久 小澤 容 金井 修 鎌倉 了 河合 信也 北原 重信 北原 實 久保田克明 小池 三造 小松 廣茂 五味 靖夫 斉藤 亨 清水 洋右 高木 鐵也 竹本 正行 千野 拓生 鶴巻 健彦 永田 英敬 中野 琢雄 中村 詔行 浜 弘毅 春宮 明宣 平井 満 平澤 豊満 藤森 宏一 降幡 久夫 牧 成治 松木 義文 松野 洋一 丸山 佳広 水野 俊彦 溝口 登 宮坂 尚利 亘理美代子 山田 善彦 横山 嘉一 吉原 千文 米山 勉男	小川 由英 佐原 一誠 清水 茂文 武井 直人 千野 眞士 堀内 啓史 中山 正彦 木下 勝 林 直司 林 博優 藤森 諄二 堀内 龍也 宮澤 玄治 矢ヶ崎克彦 山崎 智仁 山田 卷義 山本 建夫 横内 敏幸 横内 稔	66 回生 今井 英雄 小口 俊吉 奥村 和雄 小澤 博行 笠原 克彦 小池 洋司 小澤 智己 小平 正八 五味 洋 佐藤 武夫 武居 秀夫 武内 廣盛 勸使川原明英 中村 俊夫 原 護 松尾 邦昭 水岸 一洋 守矢 信明	67 回生 今井 豊 宇佐美貴久 笠原 敬司 小池 光二 小松 晃 笹岡 任治 篠原 雅孝 高木 智彦 中島 永人 中村 奎司 中村 哲夫 藤井 光子 樋口 善一 笠原 充雅 高木 蘭子 道臣 太造 源秀 直茂 矢萩 哲也 山田 稔 山田 佳宏 山本 巖 山本 金男 吉江 幸次 芳沢 勝利 吉澤 修平	68 回生 赤羽 貞幸 有賀 良夫 伊藤 智光 伊藤 八郎 今井長八郎	遠藤 正敏 大森 尚人 小口 定男 長田 伊史 小澤 俊康 大和 昭雄 春日 昌明 小平 貢 小林 史宜 宮原 功 小松 順一 花岡 柎好 林 隆憲 藤森 照信 藤森 德雄 藤森 富雄 藤森 幹夫 史郎 松甫 宮坂 和広	69 回生 上田 典胤 大槻 明 小川 正男 小口眞紀雄 小野 新正 小野 仁 笠島 信明 北原 克彦 小林 哲男 小林 正秀 小松 郁俊 小松 仁 權東 明 比田井昌英 高山 猛英 茅野 勝彦 津金 正典 中村 篤弘 中村 正治 野口 義輝 花岡 清二 花岡 正 林 史章 比田井和人 恒夫 文夫 高三 幸雄 博 正昭 三雄 卓	山田 岳秀 吉江 春人	70 回生 一ノ瀬順市 小口 卓男 小林 和男 小林 金好 小林 光廣 小松 保雄 五味知佳士 柴 正徳 清水 英俊 進藤 政臣 丸山 嘉夫 高山 博志 平山 哲三 藤森 廣幸 依田 雅子 藤森 行雄 矢島 芳明	71 回生 伊藤 洋一 小口順一郎 奥山 秀人 垣内 基良 加藤 博明 小林 精治 磯野 康子 五味 常明 近藤 知雄 齊藤 茂 笹岡 博一 渋谷 利明 田畑加久司 浜 研一 堀田 新 松田 春樹 宮坂 敏郎 矢島 俊一 横内 保美	72 回生 鮎沢 永 新井 滋平 荒木 敬悦 市村 敏夫 植松 高志 植松 昌弘 岡村 昇 笠原 初雄 笠原 勇二 桑沢 秀和 武居 俊夫	竹内 章 竹村 文男 名取 重治 野口 俊樹 林 健康 丸田 哲 三井 義久 大倉 幸雄	73 回生 浅川 辰司 井澤 昭夫 マディーン啓子 遠藤 進 岡野 健 吉川 悟 窪田 敏 熊谷 靖樹 小池 忠男 小松 宏昭 五味 信治 小山 泰男 佐藤 健介 武井 孝博 鳥羽 研二 中島 毅 野沢 敬一 林 重男 原 大 平塚 唯史 本田 稔 堀田 文昭 山田 文雄 山田 雄一 横内 孝文	74 回生 植松 孝彦 大滝 精一 小口 哲男 北原 嘉泰 久保田俊正 五味 克成 高木 健治 茅野富士男 土橋 英一 濱 健夫 松縄 茂 三井 常夫 矢崎 智義 矢崎 弥枝 柳沢 秀生 湯原 利文
---	--	--	--	---	---	--	--	--	---	----------------	---	---	--	---	---	---

75 回生 一ノ瀬保弘 伊藤 弘志 河西 安造 金子 秀樹 飯森裕見子 工藤 信一 栗林 利治 五味 文彦 土橋 宏康 徳嵩 昇一 福島 米春 宮坂 通彦 宮坂 通世 宮坂 好史	76 回生 朝倉 義信 石井 和夫 上原 幸治 大滝 啓吉 小口 直彦 片山 清 金子 次男 小平 憲良 曾根原悦夫 茅野 俊秋 中島 真一 龍岡 達子 野口 幹夫 花岡 博茂 花岡 正明 花岡 正浩 浜 典幸 山岡 恵 矢崎 正典 山田 悟 横澤 達郎 渡辺 修	77 回生 小口 晋平 小口 武男 小沢 周介 春日 敏彦 田添 珠実 小林 祥一 小松 教幸 小松 正彦 五味 崇行 薩摩林恭子 平出 美彦 堀田 康之 水戸川博明 山田 洋一	78 回生 足立 孝幸 石城 正志 小口 健 小口 正彦 釜洞 修一 桑原 誠 小松 一俊 中谷 宏 南保 勝美 登玉 秀文 堀内 正 宮原 佳彦 片貝 葉子	79 回生 青沼 卷弘 飯田 良 市瀬 章 伊藤 幾文 岩波金太郎 岡 しおり 小口 昌弘 河西 一彦 菊池 元志 小泉 章 小平 茂雄 後町 克彦 小林 健 五味 桂一 高木 保夫 高橋 則広 寺澤 茂 秋山 良子 花岡 繁 原田 健 伴野 豊 平出 義明 三井 夏海	80 回生 飯澤 隆 白田 和生 織田 吉夫 北原 悦次 桑澤 二郎 小松 仁 石川ふみ子 早出 光 武居 光雄 辻 洋 花岡 孝幸 花岡 歳樹 原田 信	81 回生 伊藤 洋一 大島 一二 大滝 祐吉 小口輝美朗 濱 知由利 矢崎 理恵 小島 洋二 諏訪 雅顕 田中 輝明 中野 則雄 平島 孝人 矢崎 公二 矢島 俊樹	82 回生 伊藤 正三 内山 茂晴 小野 隆吾 熊井 深雪 五味 康二 幸則 研二 土田 知明 古屋 了 宮下 文利 村上 裕昭 村松 健敏 渡辺 真一	83 回生 新澤みどり 小口 孝司 小野 博正 加賀見澄男 河西 秀明 菊池 俊樹 小松 裕 五味 弘昌 岡本 徹 長田 秀夫 林 暢彦 原 孝彦 伏見 升成 藤森 修一 松崎 任安 三澤 正 矢嶋 哲 矢島 充博	84 回生 赤羽 武弘 小口慶一郎 尾澤 永敏 久根 敏 西川 俊夫 野村 典亨 羽田 憲彦 花岡 秀康 原藤 健紀 平林 和之 古舘千真規 柳澤 永樹 具 保	85 回生 河西 明 片桐ゆかり 長田 里美 永田 直也 濱野 久 立花 美香 降旗 美晴	86 回生 伊藤 久人 伊藤 実 大久保淳一 中村 真澄 長田 典子 北原 雄一 坂西 研一 清水 俊樹 田中 住明 清隆 治彦 土屋 美佐 板橋 明 原田 正明 伊藤佐与子 藤田あづさ 細田 明 増沢 健二 柳澤 孝史	87 回生 有賀 誠司 井出 健次 長澤 薫 牛山 高彦 茅野 巨浩 土橋 智也 松木 勝一 宮沢 隆志 村田 和広 矢崎 裕夫	88 回生 赤池 一馬 伊東みゆき 小川 幸司 杉田 啓子 小口 智雅 河西 文子 河口 利男 栗原 清恵 関 恵世 須藤美香里 竹村 純 中村 昌弘 増澤 浩一 高島由季子 村山 光義	89 回生 大野 美江 今井聡一郎 植松 秀生 打保 直樹 小口 亘 小林 千津 城取 重行 宮原 陽一 村上伸一郎 矢島 和明 矢沢 隆	90 回生 新井 直子 池上 明雄 伊藤 浩平 小河原一浩 小河原綾子 坂口 みほ 古村 雅利 高橋 昌彦 武田 哲夫 中村 悦子 鈴木 直美 西瀬 祥一 望月 勉 矢崎 宏明 矢澤 勲	91 回生 上原 綾子 小口 和也 藤森 完一 藤森 裕司 堀内 大吾 矢澤 哲也	92 回生 荒井 亮一 小坂 和稔 笠原 健一 小竹 直子 金子 基 菅沼 清 武井 淳子 竹内 良之 植松 真実 新村 克英 西澤 賢 花岡 宏和 小坂 直子 藤森 伝太 望月 一弘	93 回生 上原 真一 野明 三枝 笠原 由美 関谷真由美 林 教恵 金子くみ子 水品 善之 宮坂 清	94 回生 金井 かよ 原田 充 藤森 賢也 宮坂のり江	95 回生 一ノ瀬弘紀 北原 克彦 熊谷 信 小池 涉 小橋 史明 小松 貴弘 斎藤 泰史 辛 宣廣 岩井美由紀 樋口 廣一 御園健一郎 柳澤 由紀	96 回生 五味 弘行 中條 倫江 平林 一也 五味 出雲	97 回生 岡部 保子	市川 壮一 小松 直樹 中谷 哲司	98 回生 兒玉真理子 鴨志田 玄 原 恵理奈 中村 勇樹 増沢 洋人	99 回生 青木 大輔 遠藤 健央 小澤 美緒 北原 秀喜 花岡 洋成 宮澤 俊行	100 回生 五味 泰史 竹村 宏介 林 敬祐	101 回生 小池 賢志 平澤 賢市 島田 夏子	102 回生 岩波 秀典 小口 祥史 笠島 明浩 小林真知子 松尾 花子	103 回生 立石 一成	104 回生 高瀬 裕美 山田 尚生	105 回生 荒井奈々恵 佐藤 広太 五味 良子 中村 貴帆 宮坂 洋輔 矢花 之宏 吉江 春子	106 回生 小松 嵩宙 小松 真之 田村 隆	中村英理子 古川 綾一	107 回生 秋山 緑 曾我 将宏 花岡 美智	108 回生 小松 雅宙 津金みほろ 林 則之 古川 恭子 山田 恵介	109 回生 足助 みわ 平塚真由美	110 回生 伊藤 千夏 片倉 正浩 竹原 文恵 田中 一平 田村 聡	111 回生 伊藤 大貴 小松麻裕子 武居 雅樹	112 回生 小濱 卓也 竹松 俊彦 田中 正明 中村 賢二 細田 由貴	113 回生 飯澤 瞳 石田 朋大 小林 九重 武居 優 細川 遊生 矢崎 晃未	114 回生 安達由紀子 雨宮 宙大 市川 浩次 小坂 一貴 辻村 朋子 矢崎 和貴 柳澤 真帆	115 回生 上原 瑛美 漆原さくら 小口 拓真 金子 圭佑 小林 貴紀 佐々木 文 篠原 映美 征矢 啓輔 友枝 勝登 長澤 晨哉 増澤 拓也 森 みのり 渡邊 泰樹	116 回生 釜洞 瑛里 唐澤 玲子 中谷 裕一 花岡 憲 花岡 大輔 福澤 大貴 藤森 聡子 増澤 直也	117 回生 大久保桃子 唐澤 大 長澤 茜 野田 一輝 藤森 穀子 宮下 優矢 両角 仁矢 矢島 達也	119 回生 塩原 雪菜 篠遠 七愛 古田 和希
---	--	---	--	--	--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--	---	---	---	--	--	---	----------------	-------------------------	--	---	----------------------------------	-----------------------------------	---	-----------------	--------------------------	---	----------------------------------	----------------	----------------------------------	--	--------------------------	--	-----------------------------------	---	--	---	---	---	--	-----------------------------------